

SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan www.scout.or.jp

平成19年7月1日発行 毎月1回1日発行 第650号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.650 2007/7



平成19年度全国大会にて、公共奉仕役の表彰を受ける福岡・直方第3団

■平成19年度全国大会報告

■さあ行こう! 第21回世界スカウトジャンボリー

■8月1日 サンライズセレモニー



財団法人

ボーイスカウト日本連盟



世界スカウト
財団法人ホ
平成

ボーイスカウト日本
ター、および帝国ホテ
招きした「記念レセプ
理事・教育本部委員の



皇太子殿下お言葉

世界スカウト運動創始 100 周年を皆さんと共に祝いすることを、喜ばしく思います。

世界のスカウト運動は、1907 年に英国のブラウンシー島でベーデン・パウエル卿が 20 名の少年たちと小さな実験キャンプを行ったことにその源を発します。以来、100 年にわたり、世界の青少年の健全育成に大きな功績をあげてきました。

現在、世界の 216 の国や地域で、2,800 万人以上のスカウトたちが、身近な地域社会、あるいは地球規模での環境保護や平和への取り組みなどの様々な活動を行っていることは、とても意義あることと思います。

また、ボーイスカウト日本連盟も、今年で創立 85 周年を迎えるとのことですが、長年にわたり、我が国における幅広いスカウト活動を支えてこられた関係者の皆さんの熱意と努力に心から敬意を表したいと思います。

私も、第 7 回日本ジャンボリー以来、毎回のジャンボリーに出席し、また、富士章を受章されたスカウトの皆さんと毎年お会いするなど、スカウト運動とのかかわりを深めてまいりました。特に昭和 57 年と 61 年に宮城県の南蔵王の山麓で開催された第 8 回、第 9 回日本ジャンボリーで、参加スカウトの皆さんと共に野外での炊事やテント生活などの野営体験をしたことは、今でも大切な思い出として深く心に刻まれています。

世界スカウト運動創始 100 周年のテーマは、「One World One Promise - ひとつの世界 ひとつのちかい」と伺いました。今年の夏には、100 周年を記念して、第 21 回世界スカウトジャンボリーが英国エセックス州のチェルムスフォードで開催されます。我が国からも 1,500 名を超える派遣団が参加するとのことですが、参加される皆さんには、スカウト活動発祥の地、英国の豊かな自然や文化に触れるとともに、世界の国や地域から参加するスカウトをはじめ、多くの人々との交流を深められることを希望します。

青少年を取り巻く環境がますます複雑化している今日、野外を活動の中心に置き、健全な心身をつくり上げることを特徴とするボーイスカウトの活動が果たし得る役割には非常に大きなものがあると思います。

豊かな未来を担う青少年の育成に向けて、ボーイスカウト運動がさらに充実、発展することを願ひ、私の挨拶といたします。

運動創始 100 周年記念

ボーイスカウト日本連盟

平成19年度全国大会 報告

平成 19 年 5 月 25 日 (金) ~ 27 日 (日)

東京 国立オリンピック記念青少年総合センター および 帝国ホテル



平成19年度年度次全国大会が5月25日(金)~27日(日)の2泊3日の日程で、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。本年は世界スカウト運動創始100周年を記念した大会でもあり、帝国ホテルにおいて皇太子殿下をお迎えした「ワン・ワールド」もあわせた大会となりました。参加者は総計840人(来賓13人、参加者660人:内年次表彰受章者139人、日本連盟職員、東京連盟奉仕者101人の他、日本連盟事務局42人)の盛大な集会となりました。その模様を報告します。



5月25日(金)に開催されたのは、県連盟コミッショナー会議。井上教育本部コミッナー他教育本部副コミッショナー2人、県連盟コミッショナー41人、県連盟副コミッショナー5人に加え、堀江富士チャレンジキャンプ実行委員長、教育本部常設委員会委員長(代理を含む)らが参席。教育本部コミッショナーの方針説明、日本連盟からの報告、平成19年度教育本部常設委員会の事業計画説明、新アクションプラン(団支援)への取り組み説明、各県連盟情報交換等が行われました。

続いて同日夜にはブロックごとの夕食懇親会がそれぞれ開催され、明けて26日(土)より、全国大会の本日程がスタートしました。

世界スカウト運動創始 100 周年記念

平成 19 年度 (財)ボーイスカウト日本連盟 全国大会日程

時刻	5月25日(金)	5月26日(土)	5月27日(日)
07:00		〈朝食〉	〈朝食〉
08:00		8:30 受付開始	8:30 受付開始
09:00		9:00 事業説明会 ・開会セレモニー ・年次報告・計画(18・19年度) ・100周年記念事業の展開 ・23WSJ 招致決起集会 ・その他	9:00 テーマ別集會 信仰奨励の集い
10:00			10:30 ロータリアンの集い
11:00		11:30 〈昼食〉	
12:00		12:30 表彰・伝達式	
13:00	*参加者受付開始		
14:00	14:00 県連盟 コミッショナー会議	休憩 14:15 パネル ディスカッション	
15:00			
16:00		16:30 帝国ホテルに移動	
17:00			
18:00	休憩		
18:30	18:30 ブロック懇親会	18:30 記念レセプション(帝国ホテル) ・皇太子殿下お言葉 ・特別来賓挨拶、ゲスト紹介	
21:00		21:00 NYCに移動	

日本連盟挨拶

橋本綱夫理事長 (要約)

本日は多数のご来賓のご臨席、全国各地からのご参加をいただきまして、厚くお礼申し上げます。本年はスカウト運動が創始されてから100周年となり、第21回世界スカウトジャンボリーをはじめ、世界各地で記念行事が行われます。日本連盟におきましても、100周年の共通テーマ「ひとつの世界 ひとつのちかい」に沿って、「ギフト・フォー・ピース」のメッセージのもとで「スカウト一人ひとりが平和のためにできることを考え、実行に移す」ことを目指しております。



この全国大会も100周年記念事業の一環として、開催いたします。各都道府県連盟の皆様と一体となって、一人でも多くの青少年がスカウト活動を通じて、有為な社会人として成長する姿を目指して、各種研修や情報交換の場としていただきたいと思います。

特に当連盟は、第23回世界スカウトジャンボリーの開催国として立候補することになり、招致に向けて世界各国に日本のすばらしさを紹介しております。2015年には世界スカウトジャンボリーを日本で開催できますよう、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、このたびの全国大会開催にあたりまして、大変にご尽力を賜りました東京連盟の皆様へ厚くお礼を申し上げますとともに、10月に開催されます第22回アジア太平洋地域会議をはじめ、同時に開催される一連の事業に向けて、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

全国大会にお越しいただいた来賓の皆様

大会会場のNYCでは来賓として、松下俱子（独）国立青少年教育振興機構理事長、西原春夫（社）青少年育成国民会議会長からご挨拶いただいた他、右記の方々を合わせ13人のご出席をいただきました。（敬称略）



（独）国立青少年教育振興機構理事長
松下俱子



（社）青少年育成国民会議会長
西原春夫



祐成善次（社）日本青年奉仕協会会長
齋藤紀男（財）日本宇宙少年団事務理事
重 政子（N）自然体験活動推進協議会副代表
日向多賀夫 BS 振興国会議員連盟井上義久理事代理
リー・サイモン・ハンボック BS 韓国連盟国際コミッショナー
ホン・スンスー BS 韓国連盟国際部長
奥島孝康 BS 東京連盟連盟長
北野英憲（社）GS 日本連盟事務局長
吉田大郎（社）日本キャンプ協会事務局長
小林 力（社）中央青少年団体連絡協議会事務局長
廣田光司（財）日本YMCA 同盟協力部統括

平成 18 年度事業報告・19 年度事業計画および表彰式

開会セレモニーの後には、リー・サイモン・ハンボックBS韓国連盟国際コミッショナーにより、来年7月に韓国・済州島で開催される第38回世界スカウト会議のプロモーションが行われ、続いて清水教育本部副コミッショナーより平成18年度の事業報告、および上島常務理事による決算報告が行われました。



リー・サイモン・ハンボック
韓国連盟国際コミッショナー

その後、井上教育本部コミッショナーより平成19年度の事業方針・事業計画について説明があり、特に100周年記念事業については上島常務理事（同推進委員会委員長）から詳しい説明が行われ、またギフト・フォー・ピース実行委員会によるアピールもあわせて行われました。



清水教育本部副コミッショナー

また、本年度の大きな事業である第21回世界スカウトジャンボリー派遣について檀上国際委員長（同派遣団長）より、また第22回APR会議について廣瀬副理事長（同実行委員長）よりそれぞれ詳しい説明が行われました。



井上教育本部コミッショナー

その後引き続き、平成19年度予算説明が上島常務理事により、また第23回世界スカウトジャンボリー日本招致についての説明（巻末カラーページ参照）が廣瀬副理事長（同委員長）によりそれぞれ行われ、最後に山田兵庫連盟理事長より、平成20年度に兵庫で開催される全国大会と第10回日本アグーナリーの紹介が行われ、午前の日程を終えました。



上島常務理事



檀上国際委員長



廣瀬副理事長



山田兵庫連盟理事長



事業報告・事業計画のあとは昼食をはさんで、人命救助章、公共奉仕綴、スカウティング褒章、特別感謝章、日連感謝章、日連感謝状、たか章、かつこう章、組織拡充顕彰などの表彰式が行われました（表彰された方々は6頁からの記事でご紹介しています）。



ギフト・フォー・ピース実行委員会によるアピール

パネルディスカッション



“塾に負けた!? ボーイスカウト絶滅の危機”に反論する

世界のスカウト運動の創始100周年にあたる本年、スカウト運動の新たな世紀に向けたキックオフの意味も含め、『“塾に負けた!? ボーイスカウト絶滅の危機”に反論する』と題したパネルディスカッションを開催しました。

パネリストとして、企業、行政、教育界、そして野外活動の現場から、それぞれの分野で活躍される著名な方々にお集まりいただき、スカウト運動の未来へ向けた有意義なお話をいただきました。

パネルディスカッションの概要は巻末カラーページで改めてご紹介します。

パネルディスカッションを終えると、夕方からの「世界スカウト運動創始100周年記念レセプション」へ向け、帝国ホテルへの移動が始まりました。皇太子殿下にもご臨席いただいた記念レセプションの様子は巻末カラーページでご紹介します。

また、26日(土)はここまでの流れに並行して、様々な展示ブース

が設けられ、参加者の目を集めていました。

そして翌27日(日)はテーマ別集會他いくつかの集會が下段記事のとおり行われ、午前中で全国大会のすべての日程を終えました。巻末カラーページで全国大会関連トピックをまとめてご紹介します。あわせてご覧ください。

■ 展示コーナー

26日の式典等が行われたNYCカルチャー棟の展示コーナー他で、以下のようなブースが出展されました。

- 世界スカウト運動創始100周年記念事業
- 第21回世界スカウトジャンボリー(7月イギリス開催。日本からは1,500人の派遣団が参加)
- 第23回世界スカウトジャンボリー日本招致(2015年、山口県山口市きらら浜での開催を目指して)
- 第22回アジア太平洋地域スカウト会議(10月日本開催)
- バングラデシュ派遣、CJKプロジェクト(国際貢献活動)
- 全国ボーイスカウト写真コンテスト(全応募作品紹介)
- 子どもの居場所づくり(全国の事業を紹介)
- スカウト切手展(日本スカウト切手協会有志による出品と、代々木郵便局による記念小型印使用)
- スカウトメモリアリア展(国内外の大会記念章、参加章他記念グッズ等展示)

<友好団体による活動紹介>

- (社)ガールスカウト日本連盟
- (財)日本宇宙少年団
- (社)日本キャンプ協会

<アウトドア企業からの協力出展>

- (株)小川テント
- (株)モンベル

この他、大ホール他のロビースペースではスカウト用品の展示販売も行われました。



■ テーマ別集會

6つのテーマに分かれ、それぞれ27日(日)の午前に2回ずつ開催。参加者はそれぞれ複数のテーマ別集會に参加しました。

1. 団活性化に向けた新アクションプランの推進
教育本部コミッショナーからの趣旨説明の後、県連盟としての取り組み(前半:島根/後半:大阪)と団による取り組み(前半:東京・国立第1団、兵庫・姫路第6団/後半:東京・町田第20団)の発表がそれぞれ各県連盟コミッショナーと各団委員長から行われ、質疑応答、意見交換を行いました。
2. ボーイとベンチャー対象の新スカウト部門の研究
「青少年プログラムの総体的な見直し」についての説明から始まり、続いて長期戦略計画の推進とそのフォローアップ、プログラム委員会での対応、見直しを行う際のコンセプト等についての説明が行われました。
3. ローバー年代のネットワーク構築
青年のネットワークを通じた活動の活性化を柱に、成人の関与や社会との目標の共有、進学等による移転先での活動の支援などの話題について様々な意見交換を行いました。
4. 指導者訓練体系における隊指導者と団運営者の養成
指導者訓練体系見直しに関する説明の後、トレーニング委員会の進行により、隊指導者、コミッショナーらによるパネルディスカッションを実施。現行体系との比較、コースの日程編成、訓練全体の構成、選択研修、コミッショナーによる支援他様々な面から話し合いが行われました。



な面から話し合いが行われました。

5. スカウト活動の国際化
海外派遣の種類や青年による海外派遣プロジェクトの説明、国際活動サービスチームの説明な

どが行われた後、質疑応答では今後の展望についての意見交換などが行われました。

6. 保護者向けのPRと広報マニュアル

県連盟や地区・団で使える広報ツール類の紹介と、保護者に対するPR要領、団や地区での広報紙作成法等、およびメディアへのニュースリリースの具体的な発信方法を説明し、質疑応答・意見交換を行いました。

■ 信仰奨励の集い

「信仰奨励章」についての具体的な説明、それに基づくスカウトのデモンストレーションの後、質疑応答を行いました。あわせて宗教章と各教宗派のハンドブック類の展示・紹介を行い、情報交換を行いました。



■ スカウトロータリアンの集い

スカウトロータリアンの事業説明、および各参加ロータリアンの活動紹介をそれぞれ行い、スカウトロータリアン相互の交流を深めるとともに、今後の活動についての意見交換を行いました。



平成19年度全国大会実行委員会

- 委員長 橋本綱夫(理事長)
- 副委員長 上島真一郎(常務理事)
- 委員 鈴木国夫(理事)
- 室橋幸三郎(理事)
- 檀上善夫(教育本部委員)
- 西村 稔(評議員)

表彰された方々

県名 | 氏名・団名 | 隊名・所属・役務 | 表彰の事由

人命救助章

岡山	富岡慎也	西大寺第1団 ベンチャースカウト	平成18年5月5日新岡山港で児童が海面から顔を出し、岸壁にしがみついているとの知らせを受け、近くにいたもう一人と協力してロープを投げて引き揚げ、介抱して、尊い人命を救った。
----	------	---------------------	--

公共奉仕綬

千葉	浦安第1団	ボーイスカウト隊	平成5年より毎月第1日曜日近隣駅前で献血の呼びかけを継続し、これまでの奉仕回数は通算160回を超えた。
岡山	浅口第1団	ボーイスカウト隊	昭和22年以来、59年間にわたり金光教大寮での警備、救護、案内、荷物預かり、湯茶接待、交通整理などを継続しており、その他、地域の清掃奉仕、山陽線不通時の炊き出しなど様々な場面での奉仕を重ねてきた。
福岡	直方第3団	ビーバースカウト隊 カブスカウト隊 ボーイスカウト隊 ベンチャースカウト隊	昭和48年(ビーバー隊は61年)以来、歳末助け合い募金を継続する他、昭和53年からは市民レクリエーション大会開会式に旗手、プラカード持ち等、地域に根ざした奉仕活動を継続している。

スカウティング褒章

日本連盟	郷家智道	宮城県連盟副理事長 日本連盟評議員	アジア太平洋地域提携プロジェクトバングラデシュ派遣事業の準備段階から10年間の派遣を通じて派遣団長として両国の相互理解の促進に力を尽くした。
------	------	----------------------	--

特別感謝章

群馬	新藤信夫	県連盟副連盟長 日本連盟常務理事	日本連盟維持会員としてご厚志を賜り、その累計が200万円を超えた。
神奈川	故竹田英俊	前県連盟副連盟長	日本連盟特別維持会員としてご厚志を賜り、その累計が200万円を超えた。
東京	原田正吾	元県連盟名誉会議 議員	//
長野	田中恒治	県連盟副連盟長	//
大分	安藤 伸	県連盟顧問	//

日連感謝章

千葉	島 孝之	県連盟名誉会議議員	日本連盟維持会員として多額のご厚志をいただいた。
神奈川	佐野友保	県連盟理事長・日本連盟評議員	//
//	鈴木武道	横浜第87団団委員長	//
//	鈴木令子	元日本連盟アダルトリソース委員	//
東京	田口榮三	県連盟参与・日本連盟評議員	//
愛知	故伊藤智是	前教育本部コミッショナー	//
大阪	瀬瀧康匡	県連盟参与・日本連盟評議員	//
兵庫	鬼塚喜八郎	県連盟維持財団理事長・日本連盟理事	//
日本連盟	前川和義	日本連盟監事	//

県名 | 氏名 | 所属・役務・職業 | 表彰の事由

日連感謝状 個人

静岡	大川靖夫	地区事務長	日本連盟維持会員として多額のご厚志をいただいた。
愛知	岡谷篤一	県連盟理事長・日本連盟理事	//
大阪	福田雅之	県連盟理事	//
福岡	鶴我 直	県連盟常任顧問	//
大分	戸高有基	県連盟理事長・日本連盟評議員	//
宮崎	塩見一郎	県連盟理事長	//
沖縄	玉城 浩	県連盟副連盟長	//
日本連盟	井上明義	日本連盟評議員	日本連盟の事業推進に際して多額のご厚志をいただいた。 100周年記念事業の一環として行った、ペーデン・パウエル卿の著作の出版に際して、翻訳のご協力をいただいた。
//	飯岡美紀	翻訳家	

所属 | 法人・団体名 | 表彰の事由

日連感謝状 法人・団体

神奈川	(有) 秦野サービス社	日本連盟維持会員として多額のご厚志をいただいた。
//	三宝商事(株)	//
石川	米沢電気グループ	//
愛知	岡谷不動産(株)	//
大阪	(財)大阪ボーイスカウト振興協会	//
//	ボーイスカウト堺第16団育成会	//
島根	出雲大社教	//
//	(株)山陰ダスキン工場	//
徳島	天羽クリニック	//
愛媛	ボーイスカウト松山地区振興会	//
日本連盟	(株)研精舎	//
//	(株)サーベラスジャパン	//
//	浄土真宗本願寺派スカウト指導者会	//
//	世界救世教スカウト連絡協議会	//
//	ソニー生命保険(株)	//
//	(株)博進企画印刷	//
//	(社)霞会館	//
//	アセット・インベスターズ(株)	日本連盟各種事業開催に際して多方面にわたるご支援をいただいた。 日本連盟の事業推進に際して多額のご厚志をいただいた。
//	ボーイスカウト千葉連盟 那須奉仕プロジェクト	平成14年より5年間連続して日本連盟那須野営場の設備増強、補修、安全面、環境面の改善を含めて野営場の活性化に貢献した。

功労章



(たか章)



(かっこう章)

県名 | 氏名 | 職務

たか章

北海道	藤森立城	団委員
//	斎藤 勉	地区協議会副会長
宮城	野中孝三	前県連盟副コミッショナー
//	堀越祐壽	県連盟理事
秋	成田 譲	県連盟コミッショナー
山形	中村喜彦	地区コミッショナー
福島	落合将人	地区委員長
茨城	佐野英樹	県連盟副連盟長
埼玉	加藤和男	地区委員長
埼玉	井上誠一郎	地区協議会長
//	市川泰夫	団担当コミッショナー
千葉	池内貞夫	県連盟副連盟長
山梨	清水利英	県連盟理事
東京	餘多分正敏	県連盟名誉会議議員
//	北野吉寿	地区委員長
//	生田目彰久	地区委員長
//	向井宗晴	地区副委員長
//	松尾宗明	地区協議会長

新潟	金澤理久夫	県連理事長
富山	星 榮一	県連副理事長
石川	横田安弘	地区協議会副会長(富山県議会議員)
福井	出島直道	地区事務局長
静岡	西村 稔	県連理事長
愛知	野田政弘	県連事務局長
岐阜	牧野 保	地区委員長
三重	三宅英治	地区協議会長
京都	林 敬順	県連副理事長
兵庫	藤川卓朗	県連名誉会議員
奈良	八木幸雄	県連副コミッショナー
和歌山	青木貴久夫	地区協議会長
大阪	宇佐美 一	県連理事
三重	水谷 直	県連名誉会議員
京都	山田啓二	県連連盟長(京都府知事)
兵庫	前田健世	県連理事
奈良	日下孝明	県連副連盟長
和歌山	櫻井晃二	地区協議会長
大阪	平野一夫	地区協議会長
大阪	膳師 功	県連副コミッショナー
大阪	河盛猛夫	地区コミッショナー
大阪	寒川 優	地区協議会長
大阪	山本和俊	地区協議会副会長
大阪	観野彦次	団担当コミッショナー
鳥取	浦川淳一	県連理事・事務局長
岡山	小林 互	県連財団監事
山口	磯部勝由	県連副理事長
福岡	中本賢一	地区委員長
大分	板井清明	県連副理事長
宮崎	香川征治	団委員長
鹿児島	久野 桂	日本連盟理事
鹿児島	伊藤公介	B S 振興国会議員連盟会員
鹿児島	衛藤征士郎	B S 振興国会議員連盟会員
鹿児島	金子一義	B S 振興国会議員連盟会員

かつこう章

北海道	経森 等	地区コミッショナー
青森	森 豊	地区協議会長
宮城	進藤恒彦	地区協議会副会長
秋田	工藤幹夫	ベンチャースカウト隊長
山形	菊池康博	地区協議会副会長
福島	芳賀文蔵	県連副理事長
茨城	上村清一	団委員長
群馬	霧藤 勉	県連副コミッショナー
栃木	和合治幸	地区コミッショナー
群馬	松浦博保	県連監事
群馬	小林勇作	地区ガバ/ドナルド委員長
群馬	海老原 学	地区コミッショナー
群馬	小松俊一	県連副コミッショナー
群馬	田村忠之	県連理事
群馬	河内正美	県連理事
埼玉	長須賀康夫	地区委員長
埼玉	清水和正	地区協議会副会長
埼玉	安齋幸一	地区副委員長
埼玉	飯塚義光	地区協議会長
埼玉	河野正道	地区委員長
埼玉	諏訪富雄	地区広報特別委員長
埼玉	小川功吉	地区副委員長
千葉	熊木道男	地区総務委員長
千葉	山田龍雄	県連副理事長
千葉	石澤英輔	地区事務局長
千葉	飯牟禮俊昭	県連組織拡充委員長
千葉	大曾根白美	地区会計
千葉	古瀬洋司	団委員長
神奈川	田中隆久	地区協議会長
神奈川	鈴木令子	地区副委員長
神奈川	岩波信夫	地区委員長
神奈川	仲戸川 新	副団委員長
神奈川	池田真一	団委員長
神奈川	田下昌人	団委員長
神奈川	安藤 徹	地区協議会長
山梨	古川一也	県連理事
東京都	吉田良文	地区進歩委員長
東京都	渋谷達雄	地区進歩委員長
東京都	三輪利昭	地区協議会副会長
東京都	戸田和明	団担当コミッショナー
東京都	小島 清	地区安全管理委員長
東京都	穴戸敏和	地区副コミッショナー
東京都	久保田武光	団委員長
東京都	渡辺邦雄	地区事務局長
東京都	大神田 久	地区委員長
東京都	飯原忠一	地区事務局長
東京都	安海得広	地区組織拡充副委員長
東京都	時田和明	県連副コミッショナー
東京都	渡邊 尚	地区副委員長

新潟	中澤征身	団担当コミッショナー
新潟	井上恵右	地区野営・行事委員長
新潟	榎松弘幸	団担当コミッショナー
新潟	清水良泰	地区組織拡充委員長
新潟	高浦谷健次	団担当コミッショナー
新潟	富永 担	前ロープスカウト隊長
新潟	森田由夫	地区事務局長
新潟	黒田正一	ボーイスカウト隊長
新潟	東海直樹	県連副コミッショナー
新潟	宮 順一	県連理事
新潟	松田 章	県連理事
新潟	丹原光英	団委員長
新潟	片岡強一	県連副コミッショナー
新潟	松本捷幸	県連理事
新潟	松久龍一朗	地区総務副委員長
新潟	加藤芳克	カブスカウト隊長
新潟	遠藤真弓	県連副コミッショナー
新潟	岩田源五	地区会計
新潟	水野良子	地区事務局長
新潟	渡邊千冬	地区事務局長
新潟	安間英雄	県連顧問(静岡県議会議員)
新潟	鈴木公平	地区名誉協議会長(豊田市長)
新潟	前山秀興	地区協議会副会長
新潟	副野 均	地区副委員長
新潟	平田新二	地区事務局長
新潟	山内 充	地区協議会長
新潟	見平 隆	地区委員長
新潟	西洞正次	地区コミッショナー
新潟	浅野邦伸	団委員長
新潟	澤田 清	ボーイスカウト隊長
新潟	平野嘉彦	団委員長
新潟	細井鋭一	副団委員長
新潟	水野幸子	副団委員長
新潟	榊原孝治	県連副コミッショナー
新潟	富田昭則	地区コミッショナー
新潟	乾 博	県連理事
新潟	寺尾岩次	県連理事
新潟	川崎宣夫	県連監事
新潟	津田 繁	県連副コミッショナー
新潟	田中善昭	副団委員長
新潟	高橋一郎	県連副コミッショナー
新潟	木下 弘	地区コミッショナー
新潟	前田良昭	地区コミッショナー
新潟	野上一恵	地区指導者委員長
新潟	七尾 克	団委員長
新潟	菊妻隆和	地区副コミッショナー
新潟	松田 薫	団担当コミッショナー
新潟	鈴木利孝	副団委員長
新潟	境 寛	県連副理事長
新潟	和田完一	副団委員長
新潟	加藤隆也	県連副コミッショナー
新潟	田中功雄	地区指導者委員長
新潟	山本一清	副団委員長
新潟	三木靖一	副団委員長
新潟	久保田太郎	地区委員長
新潟	沖山雅己	県連副コミッショナー
新潟	小石雅也	ボーイスカウト隊長
新潟	安田哲朗	地区コミッショナー
新潟	河本 林	地区事務局長
新潟	小寺数夫	地区委員長
新潟	田畑興人	地区行事委員長
新潟	本多弘一	地区国際委員長
新潟	秋本道徳	県連理事
新潟	白石定男	副団委員長
新潟	小川喜多男	地区委員長
新潟	杉本健治	県連理事
新潟	吉永啓介	県連監事
新潟	松原 尚	地区副コミッショナー
新潟	横山一記	副団委員長
新潟	坂村和法	地区副コミッショナー
新潟	荒木隆治	団担当コミッショナー
新潟	田中雅文	前県連副コミッショナー
新潟	宮川 眞	副団委員長
新潟	岡田千津子	副団委員長
新潟	鳥越義弘	副団委員長
新潟	丸山靖雄	ボーイスカウト隊副隊長
新潟	高橋輝美	カブスカウト隊副隊長
新潟	三浦嘉雄	ベンチャースカウト隊長
新潟	佐久間研治	地区委員長
新潟	中村政利	県連副コミッショナー
新潟	大竹山栄子	地区指導者養成委員長
新潟	平 賢祐	副団委員長
新潟	小川 弘	副団委員長
新潟	濱崎桂一	県連副コミッショナー
新潟	芳山憲祐	県連副コミッショナー
新潟	上田圭介	副団委員長

贈呈・授与基準

人命救助級(隊・班・組)
スカウト精神に基づき、人命を救助した隊、班または組

人命救助章(個人)
スカウト精神に基づき人命を救助した加盟員でスカウトの規範となる者

公共奉仕級(隊・班・組)
スカウト精神に基づき、公共奉仕を行った隊、班または組

公共奉仕章(個人)
スカウト精神に基づき、公共奉仕を行ったスカウトでスカウトの規範となる者

スカウティング褒章
日本におけるスカウト運動に対し、全国的に特別顕著な功績を挙げた者

褒状
日本におけるスカウト運動に対し、全国的に功績を挙げた者

特別感謝章
日本におけるスカウト運動のために、全国的にあるいは多年にわたり都道府県的に、特別尽力した方に対し、本連盟として特別に感謝するもの

日連感謝章
日本におけるスカウト運動のために、全国的にあるいは多年にわたり都道府県的に、尽力した方に対し、本連盟として感謝するもの

日連感謝状
日本におけるスカウト運動のために、全国的にあるいは多年にわたり都道府県的に、貢献した方に対し、本連盟として感謝するもの

功労章「きじ章」
日本におけるスカウト運動に対し、多年にわたり特に功績顕著なる者

功労章「たか章」
日本におけるスカウト運動に対し、全国的にあるいは地方的に多年にわたり功労顕著なる者

功労章「かつこう章」
日本におけるスカウト運動に対し、全国的にあるいは地方的に多年にわたり功労のあった者

特別年功章(5年、10年、15年、20年)
隊長、副隊長、団委員長、副団委員長および団委員長として、それぞれ通算して満5年、10年、15年または20年を超えて当該期間その任務にあつて十分責務を果たした者

隊章章綴
登録通算5か年ごとの隊

団50年章
登録継続50年の団

* 日本連盟への申請手続きは、都道府県連盟名誉会議の議を経て、都道府県連盟より日本連盟に申請または中央名誉会議自体の発議によりその審議を行い、決定する。
* 日本連盟の贈呈者および授与者は、日本連盟理事長。
[日本連盟表彰規程]による

世界スカウト運動創始100周年 8月1日 サンライズセレモニー

ブラウンシー島での実験キャンプから100年目のこの日、世界スカウト機構(WOSM)に加盟する世界中のスカウトが、それぞれの国の日の出にあわせ、スカウトイングの新しい世紀の夜明けを祝います。皆さんの隊・団でも、この日「サンライズセレモニー」を実施しましょう！



世界スカウト機構
事務総長 エドゥアルド・ミッソーニ

世界中でスカウトイング新世紀の出發を祝いましょう。

世界スカウト運動創始100周年にあたり、各国での皆さんのたゆまぬ活動・ご努力により、スカウトイングの新世紀における発展・成長がより確かなものになっておりますこと、この場を借りて御礼申し上げます。

2007年8月1日。B-Pがブラウンシー島での実験キャンプを行ってからちょうど100年を迎えるこの日、世界各地の日の出に合わせて、100万もの場所で世界のスカウトたちが「ちかい」を新たにし、ギフト・フォー・ピースのプロジェクトを展開しながら、それぞれの地域でこの日を祝います。

この日、ブラウンシー島ではすべての各国連盟から2人ずつと、6つの地域から1人ずつの代表スカウトが集まって、この運動の100周年と新しい世紀の始まりを祝います。

各地の皆さんの100周年記念事業やサンライズセレモニーの報告、写真をどうぞ送ってください。皆さんの今後の発展と、実り多き2007年をお祈りします。

世界スカウト機構
事務総長 エドゥアルド・ミッソーニ

全県連盟宛 19-5031 号(総)
平成19年 7月17日

ボーイスカウト都道府県連盟
理事長 各位
県連盟コミッショナー 各位
事務局 局長 各位

財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 金井 昭二
(公印省略)

「平成19年新潟県中越沖地震」への対応について(その1)

昨日発生した新潟県柏崎沖を震源とする「平成19年新潟県中越沖地震」につきましては、テレビや新聞等で、新潟県柏崎市及び周辺地域を中心とした被害状況が伝えられています。この地震で亡くなられた方・被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

ボーイスカウト関係者の被害については、新潟連盟からのご連絡によると、柏崎市内のライフラインがストップしており、避難所に分散して連絡がとり難い中での調査であるが負傷者等はいないようである、とのこと。これから夏休みに入りボランティア支援活動の申し出が予測されようかと存じますので、その対応について新潟連盟に照会いたしましたところ、同県連盟としては

- ① スカウト関係者から災害に対するボランティア支援活動をしたいという希望が寄せられたときは、柏崎市(行政機関)が実施する活動のもとに取組んでもらうことを優先に考えたい。
- ② その他の地域でも状況に応じた支援を必要とする場合もあるので、その場合は新潟連盟にご一報願いたい。

とのご意向を承りました。当連盟でもこれらのご意向を尊重し、貴連盟内で支援活動を希望する申し出がありましたときは、この趣旨により対応いただくようお願い申し上げます。

但し、現在も未だ余震が続いている状況であり、交通網・道路の不通箇所も多い状況ですので、今後とも最大限の注意が必要です。これらの諸状況を十分配慮のうえでの対応方ご指導をお願いいたします。

記

<新潟県柏崎市のボランティア受付先>

電話 柏崎市災害ボランティアセンター 0257-22-1411

参考：柏崎市ホームページ <http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp/>

<ボーイスカウト新潟連盟>(電話が込み合いますのでご連絡はFAX優先でお願いします)

FAX 025-229-5446

電話 025-229-5454 10:00~16:00(土日祝は休)

<ボランティア活動参加のときの注意事項>

1. 必ず所属する団の承認のもとに参加する。
2. 未成年者は保護者の同意を得る。
3. 安全には十分配慮し、必要な態勢(宿泊・装備・服装・保険の加入・食料・飲料等の準備ほか)を整えてから取組む。
4. 災害を受けた方々への支援なので、受け入れ先の負担になるようなことは控える。
5. 現地の状況は日々変化するので、支援する場所・状況に十分な対応をもって参加する。

以上

この件についてのお問い合わせ・連絡先/総務グループ渉外・文書チーム

TEL: 0422-31-5161 FAX: 0422-31-5162 E-mail: kaigi@scout.or.jp

サンライズセレモニーについて

サンライズセレモニーは世界中のできる限り多くのスカウトを集めた、世界が一つになる特別なイベントです。平和と友情の心、スカウト運動の歴史への誇りを確かめあうこのセレモニー。最も重要なのは、より多くの青少年と地域社会にこの運動が貢献できるよう、スカウト運動の第2世紀へ向けて、未来を見つめる機会とすることです。

この日の活動のためにいくつかのアイデアを紹介します。

●スカウトOBを招く

2007年までに世界で5億人を超える人々がスカウトの「ちかい」を立てています。できるだけ多くのスカウトOBたちをこのセレモニーに招き、運動への新たな参画・支援を求める機会とします。

●加盟員以外の人たちを招く

地域社会の人々やスカウトの保護者、兄弟姉妹、友だちも招待しましょう。若い人はスカウトとして、成人は指導者や支援者としてこの運動に参画してもらうきっかけになります。

地域社会の人たちと交流の機会を持つには、公共の場所でのスカウト展やスカウト活動の体験会、ゲーム大会、野外料理会などの形をとるとよいでしょう。

●世界の仲間との交流

アマチュア無線やインターネットを使って世界中のスカウトたちと交流するのもよいでしょう。この日イギリスで開催されている21W S Jの会場にもアマチュア無線局が置かれますし、WOSMのWebサイト (<http://www.scout.org/>) からはブラウンシー島でのセレモニーをはじめとする各地のサンライズの最新の情報が得られるでしょう。

また、この日、旅行に出ている予定のスカウトや隊があったら、旅先のスカウト連盟や隊との交流を設定するのもよいでしょう(海外なら日本連盟を通じて、国内なら旅先の都道府県連盟を通じて事前連絡・調整を)。

●スカウティングの歴史を学ぶ遊び

スカウトたちにスカウティングの歴史を学ぶ機会を提供します。ビーバーやカブスカウトには楽しいゲームや遊びでアレンジできるとよいでしょう。以下いくつかの例を紹介します。

【私たちの歴史】

ブラウンシー島、B-P、B-P夫人、最初の世界ジャンボリー、世界スカウト章、最近の日本ジャンボリー、自分たちの団で行った行事などの写真を紙芝居くらいのサイズに出力して順不同で並べます。写真については何も説明せず各班や組など各グループにそれらを1セットずつ配ります。一定の作業時間の間各グループは相談をし、紙芝居形式でスカウト運動の歴史を発表します。最後にお互いに発表を評価しあいます。屋内でコンピュータや投影の環境があれば、それらを用いたプレゼンテーションによる実施も可能。

<写真の珍しさや枚数、相談時間の長短などを工夫することで、成人も含めどの世代でもできるゲームです>

【ヒストリー・タイムライン】

模造紙をつなぐなどして壁いっぱい長さのシートを用意。古い新聞記事やスカウト運動の歴史資料の切り抜き、自分たちの団や隊の活動の写真などをたくさん用意します。スカウトには小さな白紙やポストイットなどを1人3枚程度配り、個人の思い出や隊・団活動の思い出を記入させます。15分程度の相談時間を経て、みんなで一斉にシート幅いっぱいに時間順にそれらを貼り付け、目で見える歴史年表を作ります。

<ボーイ年代以上なら事前の集会で主旨だけ伝え、スカウトたち自身で写真素材などを集めさせます>

【クイズでダッシュ】

20mずつ離れた場所にA、B、C、Dの表示を設けます。スカウティングの歴史に関する4択問題を出し、笛の合図でスカウトは正しい答えと思う場所へ走ります。ほどよいタイミングで2度目の笛を吹き、その場で止まらせます。移動の途中だったスカウトはその時点で最も近いA B C Dいずれかの回答とみなされます。正解したスカウトにはその都度リボンなどを渡し、最後に最も多く正解したスカウトを表彰します。2度目の笛を吹くタイミングの工夫により大いに盛り上がりします。

<問題の難しさや走る距離などを工夫することで、ボーイ年代以上でもできるゲームです>

出題例

①世界スカウト旗の色は？

A. 緑と白、B. 紫と白、C. 紫と緑、D. 白と赤 (正解はB)

②世界はいくつのスカウト地域にわかれているか？

A. 4、B. 5、C. 6、D. 7 (正解はC。アフリカ、アラブ、アジア太平洋、ユーラシア、ヨーロッパ、インターアメリカの各地域)

③世界には2,800万人のスカウトがいますが、ブラジルのスカウト人口は？

A. 1,000、B. 10,000、C. 30,000、D. 60,000以上

(正解はD。約66,000人)

団内のことに関するクイズを織り交ぜてもよい。

全国の実施団・隊の速報大募集!!

本誌カラーページでご紹介します!

世界スカウト機構(WOSM)に報告します。

皆さんの隊・団でのサンライズセレモニーの様子やスカウトたちの表情など、速報をお寄せください。本誌9月号カラー速報記事や10月号別冊のクラブスカウト誌でご紹介します。また、いただいた速報はWOSMにも日本連盟から報告しますので、WOSMのWEBサイトでも紹介されるかもしれません。

隊・団名、投稿者氏名・役務・連絡先等記載のうえ、写真1~2点を添え、8月7日(火)必着で、20頁の目次上に記載している「スカウティング投稿係」までお送りください。文字数は100字程度でも十分です。デジタル写真データをお送りいただく際は、jpeg画像で写真1枚あたり300KB以上の画素でお願いします。メール送信いただく際は、標題に必ず「サンライズ報告」と入れてください。



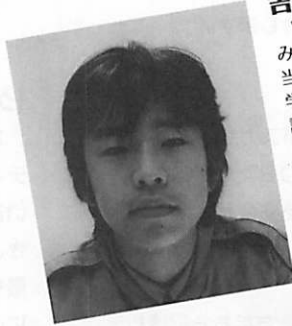
1,500人の 日本派遣団いよいよ今月出発。 さあ行こう！ 第21回世界スカウトジャンボリー

7月22日からの出発直前準備訓練、そして28日にいよいよ開会となる世界スカウト運動創始100周年記念の第21回世界スカウトジャンボリー (WSJ) 間もなく出発を迎える参加スカウトや指導者の皆さんに、WSJへの期待と意気込みを伺いました。

鈴木涼介 岩手・盛岡第5団BS隊



小学生の頃にホームステイ経験があるんですが、英語ができず苦労しました。今回はちゃんと英語で諸外国の人たちとコミュニケーションをとるのが目標です。去年の14NJのときにはジェスチャーを交えてなんとか交流できたので、今回はもっと多くの国のスカウトたちと交流の輪を広げたいと思います。楽しみにしているプログラムは「ジャンパンデー」で、ここでいろんな国のスカウトたちに日本のことや、日本のスカウト活動のことをいろいろ紹介していきたいです。



吉良仁孝 東京・葛飾第9団BS隊

WSJではスブラッシュという水系のプログラムが楽しみです。びしょびしょになって超楽しそうだから。でも本当に一番楽しみなのはホームステイなんです。経験のある学校の友だちから、「ホームステイはすごくいいぞ」って話を聞いていて、とても楽しみです。原隊のキャンプにアメリカの人が来たことがあって、いろいろと会話してなんとか通じたかなと思うんですが、その後それほど英語の勉強に力を入れていないわけでもないで、ちゃんと交流できるかちょっと心配ですけど。

木村達也 栃木・今市第2団RS隊<ISTで参加>

僕はダンスが好きで、先日は浅草の雷門の前でパフォーマンスなんかもしました。外国の人たちの人だかりができるくらいウケたんで、このダンスも一つの材料にしてWSJで思い切りアピールして、自分という人間をみんなの目に焼き付けてやろうというのがぼくの野望です。ISTの仲間にも一緒にパフォーマンスできそうなスカウトがいるので、楽しみです。フォアマンですが、ボーイスカウトとか共通の興味を持つた人同士って、初対面でもいきなり知らない人じゃないように交流することができるでしょう。ぼくのWSJのテーマは「出会い」です。いろんな出会いがありそうなWSJ、すごく楽しみです。



多井弘志 東京・豊島第14団BS隊長 地区副コミッショナー

指導者として参加できるWSJがまたま100周年、スカウティングの起源の国という幸運に感謝しています。私はスカウト時代に韓国でのWSJに参加したのですが、当時はその規模にただただ圧倒されて帰ってきたような感じでした。ですから今回はWSJに参加する多感なスカウトたちにWSJの楽しさ、すばらしさをより多く感じてもらえるようにサポートしていきたいと思っています。うちのスカウトたちは先日那須野営場でキャンプしながらの準備訓練を行い、派遣隊としてのチームビルドもできてきました。「WSJいっけい！」という気運も盛り上がってきていますよ。



永瀬晋作 埼玉・浦和第8団BS副長

現在準備訓練中のスカウトたちは、仲間としての雰囲気を感じてきていますが、まだまだ遠慮がち。このスカウトたちがWSJでどのようにはじけるか、どんな風になるのかを見るのがとても楽しみです。世界ジャンボリーというせっかくの舞台。グローバルスタンダードの中で自分が一人のスカウトとしてどれだけアピールできるか、そして隊の仲間としてどれだけ盛り上げられるか、大いに伸び伸びと楽しんでほしいですね。みんな選抜されてきた代表スカウトですから、節度をもって羽を伸ばしてくれるものと信じています。



竹内梨紗 千葉・袖ヶ浦第1団RS隊<ISTで参加>

私はRSからスカウト活動を始めたんですが、以前から弟と父がやっていて、私もホームステイの受入などで多くの海外のスカウトと接してきました。使っていくうちに英語を覚えて、海外のしぼりな空気なんかも好きで、世界に興味を持ったんです。自分がスカウトになってみると、以前よりもずっとすんなりと海外のスカウトたちの輪の中に入れて、制服っていいなと思えました。私のスカウト活動はそんなふうにはじめたので、WSJはとて楽しみます。スカウト経験の浅い私ですが、WSJ参加で一気に仲間と追いついてやろうという気持ちです。大学では医療英語の勉強をしています。世界の多くの場所で生きていける技術ですから。その勉強も今回のWSJで役立てたいと思います。



高村和宏 石川・加賀第3団RS隊<ISTで参加>

14NJの前の環日本海大会のときに韓国スカウトのマネージャーのような仕事をさせてもらって、すごく楽しい思い出と友だちを作ることができました。今でもメールで近況ができていたり、写真を送りあったりしています。今回はWSJということで、もっといろんな国の仲間とそんな友だちになれたらいいなと思っています。



先の能登半島地震の際、僕はボーイスカウトの現地奉仕本部に行っただけですが、他県からも本当によくさんの仲間が支援に来てくれていて、「やっぱりボーイスカウトっていいもんだなあ」と強く感じました。英語力はちょっと未熟で不安もありますが、積極的にいろんな国の仲間と話しかけて交流してこようと思います。

(IST: International Service Team= 国際サービスチーム)



村田大志 福井・武生第5団VS隊

言葉が十分には通じない外国のスカウトたちと、何かしら一緒に楽しむことで交流を深めたいと思います。イカダとか何か大きなものを一緒に作って遊んだりできたらいいですね。
小学生の頃にオーストラリアでホームステイをしたことがあるんですが、当時はぜんぜん英語がわからずオタオタしてばかりでした。今回は、それなりに勉強しているのもうちょっとちゃんと交流できるかなと思っています。
文化の違う人たちの交流ですから、不用意な言葉で人を傷つけてしまったりすることのないように気をつけながら、一緒に大いに楽しんできたいと思います。



石坂滋章 長野・上田第5団BS隊長 地区コミッショナー

スカウトたちには、班をベースにした自主的な行動を期待しています。パトロールシステムがうまく機能して、一人ひとりのスカウトが自分なりの楽しみを積極的に見出してくだらいいですね。準備訓練を通じて、各班長もよく班をまとめつつあり、いい派遣になりそうです。あとは自国の文化をもう一息しっかり身につけて、日本人としてのアイデンティティをもって大勢の他のスカウトと交流して、のびのびとWSJを楽しんでほしいと思います。
個人的には見學日程で「なぜ英国でBSは生まれたのか」というようなあたりをいろいろと調べ、感じてきたいとも思っています。プラウンシー島をこの目で見るのも楽しみにしています。

21st world scout japan scout mondial

飯塚貴洋 愛知・一宮第12団BS隊長

スカウトたちがなるべく多くの国の人と接して見聞を広げられるようにサポートしたいと思っています。準備や計画をしっかり立てさせることで心配事を少なくして、その分現地思い切り元気に羽を伸ばして交流を楽しむことができるようにしてあげたいですね。



原口直子 静岡・富士第9団VS隊

昨年参加した14NJがとても楽しかったのですが、WSJはたぶんまた違った楽しさがあるんじゃないかと思って参加を決めました。一体何が待っているのかわからない、という感じでも今はわくわくしています。14NJで知り合った他県の仲間とも連絡をとりあっていて、またジャンボリーで会えるねとも互い楽しみにしています。
日頃は、スカウト活動をやるからには最高を目指してキツリやっつけていこうということで、今は富士草履がでがばんばつていいます。とにかく健康が取り柄なので、WSJでも病気になるがばんばつてきたいと思います。

準備訓練でのスカウトたちは、あと一歩お客様気分が抜けない面があって、「自分たちがやるんだ!」という自発性をもう少し盛り上げてあげたいですね。指導者としては私が若手なので、うまく若さを生かしてスカウトをのせてあげるのが自分の役割かな、とも思っています。

小清水菜緒 京都・京都第55団BS隊長

異文化の生活習慣を知るということで、ホームステイが一番楽しみで、日本の文化をうまく紹介できたらしいなと思っています。英語はやや苦手ですが、弟を実験台にしてあいさつや返事を英語でやってみたりして、普段からちょこちょこ英語を使うようにしています。ともかく海外にいれば友だちを作って、文通とかしたいです。普通の旅行で海外に行くよりも、ボーイスカウトでいけば楽しい共通の思い出がいっぱい作れそうなのでいいですね。隊の仲間とはもう仲良くやれているので心配ないです。リーダーはもちろん頼りになりそうですが、なるべく頼りにしないで自力でがんばってきたいと思っています。



福塚賢一 大阪・柏原第1団VS隊

世界中からスカウトが集うWSJ、なかなか行けないチャンスなのでとても楽しみです。僕は個人プロジェクトとして他国のスカウトの制服姿の写真を、100か国を目標にするべくたくさん集めてまわってます。こんなプロジェクトに挑戦できるのもWSJならではですね。写真を撮らせてもらいながらサインをもらったりして、たくさん友だちを作ったことと思います。イギリスとアメリカには行った経験があるので、交流のための英語力は、まあまあ通じるかな、というくらいの自信はあります。世界の制服レポートを送りますのでスカウティング誌で紹介してくださいね。(◻️楽しみです! よろしくお願ひします)



横井寿子 愛媛・新居浜第2団BVS隊長 地区進歩委員長

テントで寝て、一緒に青空の下でご飯を食べて、スカウトたちと元気に笑っていたい、そのための手助けをしていきたい。というのが私の希望で、特に100周年やイギリスということ意識しての参加ではありません。いつでもどこでも、スカウトたちと行けるキャンプは大好きです。ただ、大きなイベントに参加するとスカウトたちはぐっと成長するものですから、その過程を見る機会としてやっぱりWSJは魅力的ですね。
うちの隊は山陰や四国のスカウトたちなんですが、土地柄が純粋で優しく真面目。思いやりがあって、とても温かいムードです。母親役ともなる私は自分自身の健康と元気な気分を保つように注意して、いつもどーんと構えて彼らを見守ってあげたいと思っています。



それぞれの立場でのWSJへの期待・意気込み、バラエティ豊かですね。ごく一部の方しかご紹介できませんでしたが、WSJ参加の皆さん、イギリスでの体験をぜひ投稿お願いします! お気をつけていってらっしゃい!!

キーワード：協力・楽しいこと・創作・想像力・記憶力・屋内、屋外で可

アクティビティ名	迷路で遊ぼう
ねらい	ルールを守ってみんなで遊ぶ。
内容	指導者や保護者と協力して迷路を作り、迷路遊びをする。
指導上のポイント	設計図で決められた位置に新聞紙を貼る。
準備物	ひも、新聞紙、竹竿など長い棒、セロハンテープ、はさみ等

大阪・大阪第27団 ビーバー隊長 寺本 欣也

- 【作り方】**
- ①竹竿をぶら下げる（スカウトが作業をしやすい高さにする）。
 - ②新聞の縦の幅で、紐を張る。
 - ③設計図を基に、新聞紙を取り付ける（事前に竹竿には紐を張る位置、紐には新聞紙を貼る位置の印をつけておく）。
 - ④スカウトが隠れる高さ上げて完成。

【遊び方】 スタートとゴールを逆にしたり、新聞紙の配置を変えて別のコースを作ったり、またタイムを競ったりして遊ぶ。コースの途中に関所を設けてもよい。

【製作編】

リーダー：「今から迷路を作るで。」

スカウト：「迷路～？ 迷路って広い所にあるんちがうん？ それに迷路を作るん？」

リーダー：「この場所でもできるよ！ ここに何本も張ってある紐と新聞紙を使って迷路を作るよ。」

スカウト：「新聞紙？ 新聞紙で迷路ができるん？ え～??」

リーダー：（迷路の作り方を説明する）

スカウト：「わかった！ 貼るで！ 早くしよう！」

リーダー：「そっとしないと新聞紙は破れやすいね～」

スカウト：「うん… 引っ張りすぎると破れるなあ… でもしっかり止めなあかんし。」

スカウト：「あれっ！ 印通りに貼っているだけだけど、道みたいなのところもあるし、ここ！ ここは行き止まりになってる！ すごいなあ。だんだんできてきた！」

スカウト：「頑張って作って早く迷路遊びをするぞ！！」

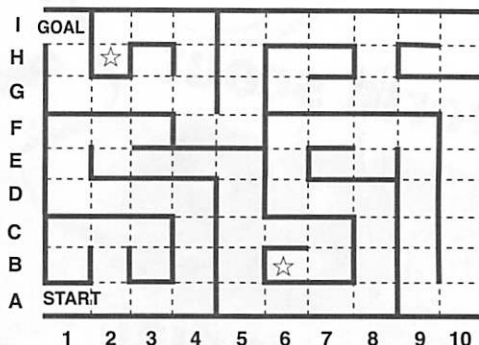
【遊び編】

リーダー：「迷路ができあがりました。今から一人ずつ入っていきます。行き止まりになったら戻って道を探してください。新聞紙の下はくぐり抜けられません。途中に関所(☆印の所)が二つあります。そこはゲームをする所と秘密の箱があるところですよ。必ずそこを通過してください。約束です。」

スカウト：「わかった！ 簡単簡単！ 大丈夫！ 早く出発したいなあ～」

リーダー：「それでは順番にスタートします。」

スカウト：「あれっ！ んん？ こっちや！」「行かれへんな。」などと言いながら順番に遊ぶ

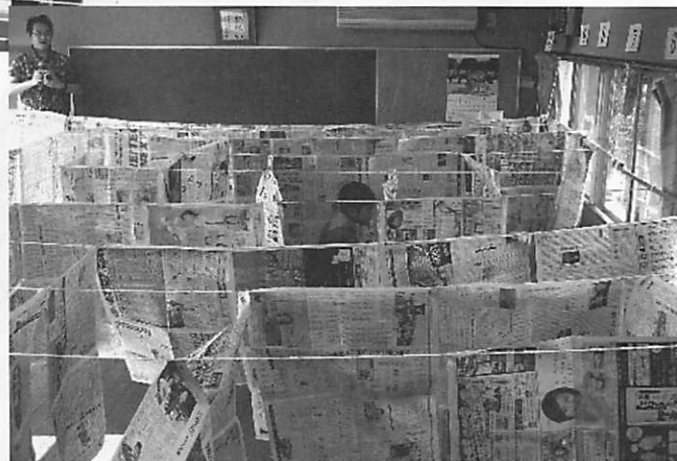


スカウト：「ゴールした～！ 行ってもまた行き止りがあつたりして、なかなか関所まで行かれへんかったなあ…。すごい面白い！ もう1回しよう！ もう1回！！」

<スカウトたちの様子>

行ったり来たりするスカウトもいれば、迷わず行くスカウトもいました。

自分が行くのも楽しみですが、仲間のスカウトがどういう風に迷路から帰って来るのかも興味津々だったようで、ゴールしてくるのを待っている姿が見られました。



★ アクティビティ大募集 ★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践して下さる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！（目次頁右上の宛先まで）

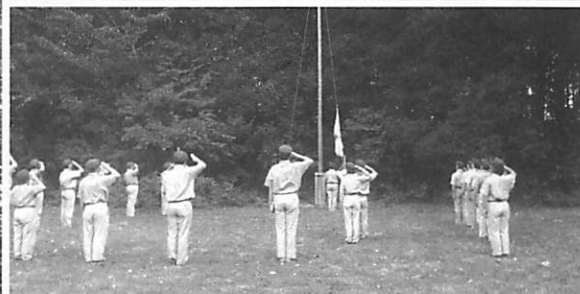
全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

⑩ トーテムポール～栃木 日本連盟「那須野営場」

指導者トレーニングコースが開催される日本連盟「那須野営場」は、昭和25年10月、栃木県西那須野町三島（現在、那須塩原市西三島）の、三島通陽第4代総長所有地を日本連盟が購入したものです。ここでは、三島総長の祖父三島通庸子爵が那須開墾のため明治初期に払い下げを受けた土地の一部です。三島子爵は、不毛の地といわれていた那須野が原に疎水工事を起こして土地を豊かにし、発展させました。

84,000㎡の広さの野営場には、カブ広場、スカウト広場、コース広場、研修棟などがあります。ご紹介するトーテムポールは、研修棟から北に少し行ったところの「つつじ通り」に建っています。

このトーテムポールは、野営場に勤務していた古田伝一氏によって発案・製作されました。古田氏が当時の久留島秀三郎理事長に提案し、松の古木を彫りあげたものです。基になる図案は、画家の松宮左京氏が制作しまし



た。トーテムポールは、那須にふさわしい人物、伝説、動物をテーマに作られています。一番上には、「平家物語」に登場する那須与一（なすのよいち）と日の丸の扇、「那須記」に登場する金毛九尾の白狐と、矢傷を負って温泉に入り、那須湯本温泉（鹿の湯）を開くもとなつたといわれる白鹿、そして那須の森に暮らすリス、ノウサギ、フクロウがあしらわれています。

トーテムポールは、1959（昭和34）年5月31日に除幕されました。ちょうど那須野営場では、第3期日本ギルウェル・コースが開設されており、盛大な除幕式となりました。しかし、生木を使用したために次第に朽ちてしまいました。

そこで古田氏は、再度コンクリートでの製作を決意。1966（昭和41）年トーテムポールは復活し、現在も美しい姿で野営場に建っています。冬も夏も雨の日も風の日も、スカウティングを見つめ続けるトーテムポール。ぜひ一度那須野営場を訪れ、那須与一や動物たちに「元気かい」と挨拶をしてみてください。

（財）ボーイスカウト日本連盟那須野営場

【住所】 〒329-2756 栃木県那須塩原市西三島 7-334

【TEL】 0287-36-0708

【FAX】 0287-37-2327

※訪問：電話での事前確認が必要

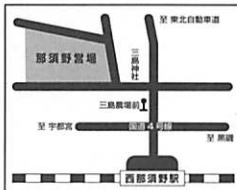
Topic

「那須野営場だより」のご紹介

ボーイスカウト日本連盟のホームページには、四季折々の那須野営場の様子を紹介する「那須野営場だより」のコーナーがあります。おおよそ月に1度くらいのペースで更新されていますので、どうぞご覧ください。

日本連盟トップ画面から > 日本連盟について > 那須野営場 > 那須野営場だより とお進みください。

http://www.scout.or.jp/j/info/institution/nasu_main.html



■那須野営場へのアクセス

- 電車 1. JR宇都宮線「西那須野駅」下車。バスにて「三島農場」下車（5分）。
- 2. JR東北新幹線をご利用の場合は「那須塩原駅」下車、JR宇都宮線にて「西那須野駅」、バスにて「三島農場」下車（5分）。
- 車 1. 東北自動車道「西那須野塩原IC」より5分。

信仰奨励章取得のための手引き -3-

「信仰奨励章」について、隊活動への導入方法やその考え方など、4回にわたり解説していくシリーズ（その間、「隊長への手紙」はお休みします）。なおこの連載は後日関連資料などを加えた冊子として発行される予定です。

3. 支援のポイントとねらい-2（前号からのつづき）

一② 神（仏）からいただいた贈り物

人間一人ひとりには、神（仏）からいただいた資質（贈り物・ギフト）を持っており、その資質を生かして他の人々の役に立つことは、神（仏）からいただいた贈り物を生かしたことになります。そしてそのことが神（仏）の御業（みわざ）を行うことになり、人として本当の幸福の意味を理解することになるとベーデン・パウエルは示しています。

【参考3-②：アンノンスカウト物語と解説】

すでに様々のハンドブック等でご存知の方も多いことと思いますが、この物語の概略は次のようなことです。

1909年の秋、ロンドンに来ていたアメリカの出版業社ウィリアム・ボイス氏が、市の中心部で、ある事務所を探していたが、深い霧で道がわからなくて困り果てていた。そのとき一人の少年が「何かお役に立てることがありますか?」と近づいてきた。道に迷って困っていることがわかると、少年は先に立ってその事務所までボイス氏を案内した。

ボイス氏は、少年にチップを差し出そうとしたが、小銭を取り出す前に、少年は勢いよく右手を挙げて敬礼をした。

「僕はボーイスカウトです。今日も何か善いことをするつもりでいました。お役に立ててうれしいと思います。スカウトは他の人を助けることで、お礼はもらいません」と少年は言った。少年からボーイスカウトのことを聞いたボイス氏は、さらに少年にボーイスカウトの本部まで案内してもらった。少年の名前を聞こうとしたときには、彼はすでに姿を消していた。

イギリスの本部でボーイスカウトのことを詳しく調べたボイス氏は、アメリカに帰ってタフト大統領に話をし、やがて、アメリカでボーイスカウト運動が始められた。

という物語ですが、その少年が誰なのかはわかっていません。しかし誰も知らないこの少年の小さな善行が、アメリカのたくさんの少年に、ボーイスカウトを伝えるもに

なったのです。

<解説>

◆ウィリアム・ボイス氏

スカウト運動をイギリスよりアメリカへ最初に紹介した人物。ロンドンのスカウト本部から多数の資料を持ち帰り、1910年2月8日にアメリカのボーイスカウトが発足した。後に、この功績が讃えられ、アメリカのスカウト功労章である「シルバーバッファロー章」が贈呈された。

◆チップの習慣

チップとは、サービスの利用に対して規定料金とは別に支払う、心づけの現金を指す。その昔、欧米では、サービス業の賃金が安く設定されていたことが多く、チップがサービス業で働いている人の生活給となっているといわれていた。

◆ボイス氏を案内した少年（無名のスカウトの善行）

アメリカでボーイスカウトが発足して15年後には、100万人を突破し、第一の功労者として、この少年に「シルバーバッファロー章」を贈ることになるが、少年は見つからず、少年への感謝の意を込めて、アメリカ連盟は、イギリスにあるギルウェル・パーク（指導者訓練センター・国際キャンプ場）に、スカウト功労章になっているバッファローの銅像を1926年に贈った。

この銅像の銘文に、「日日の善行を努めんとする一少年の忠実が、アメリカ合衆国にボーイスカウト運動をもたらした。名の知れざる少年のために」と刻まれている。

【参考：ベーデン・パウエルの言葉】

1. 善行

少年は、それを実際に行うやり方さえわかれば、善いことをするという本能をもともと持っている。この善行という務めは、本能を満たし発達させる。（中略）

善いことをしようという気持ちを少年が表現することは、教訓めいた教えを受動的に受け入れるよりも、もっと効果的で、彼にとっても自然なものであり、スカウトのやり方により合致するものである。

（『隊長の手引』新訳版より）

2. 贈り物

ほとんどの人は、いわゆる「天分（ギフト）」といわれるものを隠し持っている。ある者は生まれつきの画家だったり、俳優であるかもしれないのに、食料雑貨店に勤めていたり、大工さんとして働いている。またある者は、巧みな手品師や歌手であるかもしれないのに、ウェイターや機関車の火夫をして生計を立てている。

ではなぜ、「天分（ギフト）」といわれるのであろうか?

そう、それは本来的な資質—神から与えられた贈り物（ギフト）—だからである。それ故、その資質を持っている者は神のためにそれを役立てるべきである。このことは、その贈り物を他の人々に再び与えることによって可能となる。

自分の才能を自分自身のためよりも、他の人の役に立つようにしなさい。そうすれば神の御業を行うことになるし、また幸福の意味を見いだすことにもなる。

（『ローバーリング・ツウ・サクセス』より）

3. 心の全面的変化をもたらすもの

自己を抑えて、他の人に対する愛と奉仕の心を育むことは、神が心に宿ることであり、その人の心を全面的に変化させてしまうものであり、それは真の天国の栄光をもたらす。これは、彼を別の存在にするものである。

彼が問うのは「何を達成することができるか」ではなく、「人生で私は何を与えることができるか」というものになる。

（『隊長の手引き』新訳版より）

4. 家庭から始まるもの

少年たちは「奉仕」を教えられるものである。最初はウルフカブとして母親に初歩的な善行をし、スカウトとして、日々の善行と人命を救うための準備をすることを経て、最後にローバーとして、他の人々へ日常的に公共奉仕をするようになる。

（『ローバーリング・ツウ・サクセス』より）

（次号へつづく）

次回最終回は、明確な信仰に触れることについての説明です。

日本連盟プログラム委員会
宗教関係代表者会議

INFORMATION

JULY
2007

日本連盟からのお知らせ

■プログラム委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:00
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 上道委員長他5人
協議事項: 1. 日本連盟重点課題について
2. 今期プログラム委員会の重点課題について
3. 作業チームの編成について
4. 世界プログラム方針について
5. 第5回アジア太平洋地域(APR)フォーラムについて
6. 「スカウトの日」の配布物作成について
7. 信仰奨励章について
8. ユース特別委員会報告書について

■トレーニング委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:40
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 戸部委員長他4人
協議事項: 1. 平成19年度トレーニング委員会事業計画について
2. 全国大会「テーマ別集会」について
3. 新指導者訓練体系について
4. タスクチームの進捗状況、新規編成について
5. APRコース・フォー・リーダーートレーナー2007について 他

■組織拡充委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:00
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 西村委員長他5人
協議事項: 1. 平成18年度組織拡充委員会からの申し送り事項について
2. 平成19年度組織拡充委員会担当事業の展開について
3. 今後の日程について 他

■広報委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)10:30
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 有野委員長他4人
協議事項: 1. 全国大会テーマ別集会について
2. 「スカウティング」誌の中期企画について
3. 広報資料の作成について 他

■安全委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:00
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 豊秀委員長他3人
協議事項: 1. 平成19年度以降の安全委員会実施計画について
2. 夏季の諸活動に向けての注意喚起について 他

■イベント委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:30
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 時委員長他3人
協議事項: 1. 「第16回日本ジャンボリー」および主催大会の開催時期について
2. 平成19年度事業計画について
3. 日本連盟主催大会の在り方について
4. 日本ジャンボリーの見直しについて
5. 今後の予定について 他

■国際委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月12日(土)13:00~13日(日)11:00
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 檀上委員長他5人、参席1人
協議事項: 1. 平成19年度・20年度国際委員会の編成について
2. 前任期国際委員会からの引き継ぎ事項について
3. 国際関係委員会について
4. 平成19年度国際関係事業計画について
5. 日本連盟の国際化の推進について
6. 国際化に対応可能な青年層の育成について
7. 国際活動サービスチームの運営について
8. 国際協力プロジェクトについて
9. 平成19年度全国大会・テーマ別集会について
10. 第22回APRスカウト会議・第38回世界スカウト会議への取り組みについて

■5月教育本部会議の開催(報告)

日時: 5月13日(日)13:00~16:30
場所: 東京・ボーイスカウト会館
出席: 井上教育本部コミッショナー他16人、参席7人
協議事項: 1. 教育本部から関係役員への委任事項について
2. 教育本部会議で検討・協議する事項について
3. 教育本部関係の事業報告、決算について
4. タスクチーム(作業チーム)の編成について
5. 宗教章授与基準の新設と変更について
6. 平成19年度事業計画ならびに各委員会の事業推進方法について
7. 第16回日本ジャンボリーの開催年について
8. 制服使用等の各種申請に関する対応手順について

■財務委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月14日(月)13:30~15:30
場所: 東京・(株)サーベラスジャパン
出席: 廣瀬委員長他2人、参席古賀副理事長
協議事項: 1. 平成18年度決算について
2. 維持会費の徴収について
3. 北海道連盟札幌地区キャンプ場について

■評議員会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月17日(木)14:00~16:30
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年センター
出席: 評議員42人、代理者4人
参席: 橋本理事長他7人
協議事項: 1. 平成18年度の事業報告について
2. 平成18年度の収支決算について

- 平成19年度維持会費の納入について
- 第16回日本ジャンボリーの開催年について
- 主催大会開催のための特別委員会の新設について

■政策委員会(スカウト運動推進・支援)(第4回)の開催(報告)

日時: 5月22日(火)10:00~13:00
場所: 東京・尚友倶楽部
出席: 古賀委員長他4人
主な議題: 1. 検討区分に対する教育本部の対応について
2. 実行計画に対する今後の推進方策について

■理事会(第1回)の開催(報告)

日時: 5月22日(火)14:00~16:30
場所: 東京・尚友会館
出席: 橋本理事長他14人
参席: 前川監事
協議事項: 1. 平成18年度の事業報告について
2. 平成18年度の収支決算について
3. 平成19年度維持会費の納入について
4. 第16回日本ジャンボリーの開催年について
5. 主催大会開催のための特別委員会の新設について
6. 評議員の一部交替について

■県連盟コミッショナー会議(第1回)の開催(報告)

日時: 5月25日(金)14:00~18:20
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席: 井上教育本部コミッショナー、教育本部副コミッショナー2人、県連盟副コミッショナー41人、県連盟副コミッショナー5人
参席: 堀江富士チャンピオン実行委員長、教育本部常設委員会委員長(代理を含む)
主な内容: 1. 教育本部コミッショナー方針
2. 日本連盟からの報告
3. 平成19年度教育本部常設委員会の事業計画について
4. 新アクションプラン(団へ支援)への取り組みについて
5. 各県連盟情報交換

■平成19・20年度教育本部全国選出委員および常設委員会委員の紹介

(◎が委員長、○が副委員長)

<教育本部全国選出委員>

中野 充 (新潟)
鹽井 雅也 (大阪)
中野 まり (愛媛)
平塚 学 (熊本)

<プログラム委員会>

◎ 上道小太郎 (大阪)
○ 真山 明夫 (東京)
○ 中野 まり (愛媛)
安藤 正紀 (神奈川)
鹿ノ内美智子 (福井)
横山 稔 (大阪)

<トレーニング委員会>

◎ 戸部 恵一 (埼玉)
○ 池 良弘 (新潟)
神田 幸博 (東京)
中橋 邦 (宮城)

永広 逸子 (奈良)
新美 逸夫 (愛知)

<組織拡充委員会>

- ◎ 西村 伸次 (京都)
- 西田 弘展 (広島)
- 黒崎 博孝 (栃木)
- 鹽井 雅也 (大阪)
- 船橋 鐸夫 (愛知)
- 矢吹 了一 (高知)

<広報委員会>

- ◎ 有野 廣 (東京)
- 畠山 武司 (福岡)
- 大林 誠 (岡山)
- 薦川 常慶 (山口)
- 中野 充 (新潟)

<安全委員会>

- ◎ 豊秀 昌彦 (宮崎)
- 岩井 均 (奈良)
- 神庭 尚志 (鳥取)
- 濫野 敏彦 (兵庫)

<イベント委員会>

- ◎ 崎 信治 (滋賀)
- 高橋 直克 (北海道)
- 荒堀 淳嗣 (京都)
- 井上 法英 (新潟)
- 坂井真理子 (山口)
- 真名子 淳 (大阪)

<国際委員会>

- ◎ 檀上 善夫 (愛知)
- 高橋 譲 (宮城)
- 赤塚 広之 (大阪)
- 鷹田 理佳 (京都)
- 平塚 学 (熊本)
- 水田 慎也 (千葉)

■第4回アジア太平洋 (APR) エア (無線) ジャンボリー/インターネットジャンボリー

アマチュア無線とインターネットを使用したAPRのスカウト行事が、平成19年8月4日(土)～5日(日)(毎年8月第1週末に実施)に実施されます。日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ(8J1S)はボーイスカウト会館にて運用します。

■ラジオスカウティングアワードについて

本誌前月号20頁でご案内した「ラジオスカウティングアワード」について、世界スカウト運動創始100周年記念局に「世界スカウト機構(HB100S)」「チェコ(SC7J)」「ドイツ(DF0CP・DL0JAM)」が追加されました。また、前月号でご案内したとおりサンライズセレモニーが行われる8月1日(水)にはブラウンシー島(GB100BI)で、第21回世界スカウトジャンボリー(7月28日(土)～8月7日(火))にイギリスにて開催)ではアマチュア無線局GB100Jが設置され運用されます。ぜひ交信にチャレンジしてください。ジャンボリー会場では、8月4日(土)にJOTAバースデーパーティーが開催されます。

■後藤新平「生誕祭」での後藤新平とボーイスカウトに関する講演

後藤新平(初代総裁・初代総長)生誕150年記念「生誕祭」が誕生日の6月4日(月)、ゆかりの地、岩手県奥州市水沢の後藤伯公民館で開催されまし

た。鈴木国夫日本連盟理事が招かれ、記念講演で「後藤新平とボーイスカウト」と題する講演を行いました。水沢小学校6年生150人および岩手連盟小田島連盟長他関係者を含む一般市民約300人が参加しました。また「第1回後藤新平賞」を受賞し日本旅行中の李登輝氏が訪れました。講演では、後藤初代総裁(のち総長)のボーイスカウト運動との関わりやスカウト運動の特色などを紹介、特に後藤初代総裁がこよなく愛したスカウト運動が今こそ教育に求められていることが強調されました。



7月の会議・行事

- 1(日) 中央名誉会議 東京・BS会館
- 15(日) 指導者導入訓練スタッフ研修会(東会場) 栃木・那須野営場
- 15(日) 富士チャレンジキャンプ実行委員会 東京・BS会館
- 19(木) 政策委員会 東京・八重洲倶楽部
- 19(木) 常任理事会 東京・日本工業倶楽部
- 20(金) 傷害共済運営委員会 東京・八重洲倶楽部
- 21(土) 指導者導入訓練スタッフ研修会(西会場) 大阪・長居ユースホステル
- 21(土)～22(日) 21WSJ IST出発直前準備訓練 東京・NYC
- 22(日)～23(月) 21WSJ 参加隊出発直前準備訓練 東京・岐阜・愛知・大阪
- 23(月) 21WSJ IST出発(8/12帰国) イギリス
- 24(火) 21WSJ 参加隊出発(8/12帰国) イギリス

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

2007年度4月度

【宮城】 郷家 照夫	【新潟】 斉藤 真憲	【京都】 出石 康之
【茨城】 小林 成敏	田村 良裕	林 俊次
【栃木】 小川 公志	【石川】 越野 ゆかり	【兵庫】 岡田 勝
【群馬】 中澤 範一	【岐阜】 所 秀吾	【鳥取】 木下 力夫
【埼玉】 藤野戸 幸子	【静岡】 鈴木 陽	【香川】 尾崎 道広
【千葉】 西原 潔	佐野 康輔	【宮崎】 篠崎 勝英
【東京】 田口 榮三	【愛知】 芹澤 伸年	【鹿児島】 西牟田 満
矢作 謙也	堀江 竜一	【日本】 若山 裕司
	【愛知】 前山 秀興	
	平野 嘉彦	

<お詫びと訂正>

本誌6月号14頁右下囲みに誤りがありました。大変失礼いたしました。訂正し、お詫び申し上げます。

(誤) 故伊藤 是智
(正) 故伊藤 智是

ローカルホットライン

..... 団
 地区
 都道府県連盟
 その他

行事報告
 活動報告
 ...etc

団・地区・都道府県連盟だより

愛知

□ 息子たちの富士章受章

武豊第2団 ベンチャー隊長 森田 剛公



私は武豊第2団が発団した20歳の頃からボーイスカウト運動に参加してきました。結婚後、息子たちが入隊してからは、スカウト活動を一緒に楽しんできました。息子たちは小学校時代に子ども会、中・高校時代に部活動があり、スカウト活動との両立が難しくなって悩むこともしばしばありました。そんなときは家族皆で考え、相談して、スカウト活動を継続することができました。また、息子たちは県大会、日本ジャンボリー、海外派遣等にも参加し、大勢のスカウトと交流を持ち、多くの指導者のお世話になりました。

そのように、多くの体験をさせていただき、三男が今年4月に富士章を取得しました。長男は平成13年度、次男は平成16年度に取得していましたので、3人の息子たちの富士章取得は私にとって、とても嬉しいことでした。私が息子たちと一緒に歩んできたボーイスカウト活動の成果が出たのではないかと考えています。ボーイスカウト活動の意義を理解し、私のスカウト活動に対する情熱を感じ、一緒に活動してくれる息子たちに感謝したいと思います。そして、息子たちを支援して下さった多くの方々に感謝しています。

現在、我が家では私が地区コミッショナー

でベンチャー隊長、妻が地区副コミッショナーでカブ隊副長、長男がビーバー隊副長、次男がローバースカウト、三男がベンチャースカウトとして活動しています。これからも、家族皆で楽しいスカウティングを続けていきたいと思っています。そして、私たち家族が夢中になっているスカウティングを、多くの人たちに体験していただき、素晴らしい活動に参加してもらえるように、日々精進していきたいと思えます。

宮城

■宮城県連盟B-P祭

宮城県連盟広報委員 柿沼 富雄

世界スカウト運動創始100周年を記念する県連盟主催のB-P祭を、2月18日(日)仙台港国際ビジネスサポートセンター内のアクセルホールで実施しました。

午前中は小雨模様でしたが、開会後の午後には雨も上がり、県内5地区29こ団より、850人が参加して、会場はスカウト、指導者、保護者で埋め尽くされました。

セレモニーは立野智美さん(石巻第2団RS)の司会進行で始まり、千田理事長より「ボーイスカウトの創始者であるベーデン・パウエル卿の誕生日をみんなで祝いましょう」と挨拶があり、次にVS富士(名取第1団)の春日沙和さん、菊スカウト(仙台第1団)東海林司君、(仙台第1団)足利航君、(仙台第28団)乙訓優之介君の4人に各章が授与され、会場から大きな拍手が送られました。会場の左側には、直径2m余りの模擬パースデーケーキが置かれ、全員でパースデーの歌を斉唱。スクリーンにはボーイスカウトの歴史と活動の様子が放映され、B-Pの勇姿と声は明日を担うビーバー、カブスカウトたちの心の中に深く残ったことでしょう。

その後ゲームに入り、屋外でスカウトたちがジャンケンや風船ゲームでビーバーとカブが組になったり、他地区のスカウトと組になったりし、交流が深められた様子でした。会場内では指導者、保護者を対象に、いじめについて千葉県連盟コミッショナーとのミーティングがあり、真剣に聞き入りメモする人たちもいたようです。

閉会では、全員で弥栄を三唱。

最後に、パースデーケーキ風カステラとB-Pのカラー絵はがきが配られ、楽しいB-P祭となりました。



大阪

□100周年のB-P祭

島本第1団 副団委員長 坂東 俊枝

島本第1団では、B-P祭に、ボーイスカウト100周年を記念して、いろんな活動をしました。そのご報告をさせていただきます。

2月18日(日)団B-P祭です。

多くの保護者の方にもお手伝いいただき、もちつき大会を行いました。

開会セレモニーでは、丸谷育成会長から、わかりやすい100周年のお話を聞きました。でも、ビーバーちゃんは、ちょっとぼかん!と口を開けていましたが…

次に、夏に打上げられるロケット「セレーネ」の行っている「月に願いを!」キャンペーンに100人のメッセージを送ろうと、団体で参加。7月に打ち上げられるロケットに印字された名前とメッセージが、ともに宇宙に飛び立つのです。

島本第1団のメッセージは「スカウト100人増やすぞ!」

中でも、現在4人のスカウトであるビーバー隊の指導者の力の入り方はすごい!



さっそく一人の入隊式を実施。道林(どうりん)君、入隊おめでとう!

さて、次にみんなでおもちつき。子ども用のきねを購入し、スカウトがつかました。なんといっても怖いのが、もちを返す大人…スリルを味わいながら、こわごわ手を伸ばします。それをお母さんたちがまるめて100セットの信号おもちを作りました。赤はエビ入り、青は青のり入り…赤信号と青信号にみたてたセットを袋詰めし、袋には狩野団委員長の挨拶で「子どもたちが、交通事故に巻き込まれないように、どうぞ安全運転をお願いします!」と。

そして、阪急水無瀬駅や島本町ふれあいセンターで、大人の方にもお願いしながら手渡しました。

こうして、島本第1団のボーイスカウト100周年の第1弾企画は、無事終了。

2007年は、100に明け暮れる島本第1団です。

ちなみに、次回3月11日に行う一日体験のテーマは、「100×100=何年?…原始時代へGo!」

スカウト100人増強作戦開始!



東京

□NFLフラッグゲームズ終了レポート

清瀬第2団 団委員 新井 隆

開催日 平成19年2月25日(日)

会場 東京都練馬区立光が丘公園

チーム名 練馬第9団カブ隊1組、カブ隊2組

清瀬第2団カブ隊

練馬第9団カブ隊リーダー

清瀬第2団カブ隊リーダー

フラッグフットボールは、ボーイスカウト活動に合った素晴らしいスポーツです。

ボーイスカウトでも、組長(班長=QB)が、年齢の違ったスカウトたちで構成する組(班=チーム)をまとめ、一人ひとりに役目を指示し、その一人ひとりが役目を果たし、組(班=チーム)が一つになって目標を達成します。この点において、フラッグフットボールゲームズは、達成感、育成にとっても役に立つスポーツです。

来年は、他の団からも参加の声があり、ボーイスカウトの中でも拡大していきたいと思えます。

練馬第9団カブ隊1組 清水 美佐都

2月25日(日)、朝から冷たい風が吹いて

いましたが、それに負けず、フラッグフットボールの試合を清瀬第2団と光が丘公園でやりました。

今回で3年目です。

初めてフラッグフットボールをした人も楽しくやっていました。

みんなで力を合わせて、何回もタッチダウンができました。

ほとんどの人がタッチダウンでき、みんな楽しそうでした。

私のチームは2試合に勝ち、1位になりました。とても嬉しかったです。

みんなが応援してくれて、力がとっても出ました。

また来年もやりたいし、勝ちたいです。



兵庫

□ ボーイスカウトって、どういうもの？

西宮第3団 ローバー隊長 森地 一夫

社会教育商事株式会社は、全国の社会教育を取り扱う最大手商社の一つである。そのセールスマンS氏の、営業活動の様子をご紹介します。

客 社会教育を探してるんですが、何か良いの無いでしょうか。

S そうですね、ボーイスカウトなんてどうでしょう。100年の伝統を持つ老舗です。

客 老舗って、古いだけなんじゃないの？

S いえいえ、全然古くありません。100年間続いているということは、それだけ実績があるってことなんです。

客 ふーん。で、ボーイスカウトって、ヘンな格好をして歩いているのを時々見るけど、どういうものなの？

S 班制教育と進歩制度に基づき、野外活動を通じて、社会に役立つ人材を育成してるんです。

客 専門用語はよくわかんないな。野外活動は、まあわかるけど…。要するにアウトドア？

S 野外活動は、ボーイスカウト発祥が多いんですよ。アウトドアならボーイスカウトにお任せです。たとえば、キャンプもボーイスカウトが始めたようなものだし、ハイキングも元はといえばボーイスカウト用語。

客 キャンプといっても、そこらのキャンプ場でボーイスカウトは見たことないよ。

S ええ、ボーイスカウトのキャンプは独特でして、班ごとに山の中でテントを張って生活するんです。

客 「班」？

S 小6から中3の子どもたちが混ざった8人ぐらいで班を作ります。基本的に子どもたちだけの班で生活をするんです。

客 大人はいないの？

S もちろん大人もいて、班の生活を見守っていますし、指導もします。でも、子どもたちだけの班でサイトをやらせて、班の生活を主体にする班制教育というのが、他の団体のキャンプとは違うところなんです。

客 「班」っていくつあるの？

S 班4つぐらいで隊になるのですが、隊長をはじめ大人のリーダーが付きまゝ。4こ班で…。

客 あれ、ちょっと元気がないね。

S はい…。異年齢児からなる班が4つぐらいあって、競争し、切磋琢磨することも、ボーイスカウト独特のやり方なんです。最近、1こ班しかない隊が増えているのが現状で…。

客 それじゃ、競争にならないじゃない。

S ええ、そうなんです。…。(気を取り直して) 1こ班でも工夫しだいで十分班制教育はできますし、それに、ボーイスカウトに入ると、海外派遣もあるし、いろんな大会の旗手とか、他ではできない経験ができますよ。

客 確かにそれはあるね。甲子園のプラカードも持ってるしね。かなり練習するんでしょう。

S いえ、大会に奉仕することは、そうめったにあることではなくて、普段は他のことをしています。

客 他のこと？

S ええ、ハイキングや、ロープ結びや、手旗や救急法とか…。

客 手旗？ やっぱ古いんじゃない？ そんなことやって何の役に立つの？

S 手旗が直接役に立つことってまあないですが、旗を見ることで集中力を養ったり、文章の要約や推理なんかの勉強もできるんです。そちらの方が主目的なんです。これは学校の勉強にも役立ちます。そこで得た集中力なんかがあるので、たまに大会などに出てもビシッと決められるんです。

客 なるほど、隊長が「ハイ集中してよく見て」「赤上げて」って教えるわけだ。

S いえ、塾じゃないんで…。それも先ほど言った班の中で、子ども同士で教えあうんです。しかも、ゲームにして憶えますから、遊びの中から集中力なんか身についていくわけですよ。

客 でも、隊長が教えた方がしっかり教えられるんじゃないの？ 子どもに任せていたら、本当に遊んでしまわない？

S そこは、やはり班制教育というもので、班を使って教育するところがボーイスカウトの独特のやり方です。班長っていうと、たいがい一番年長の子どもがなりますが、その班長が班員に教えるんです。班長は、それにより指導力が身につきます。班長は、ハイキングでも中心になって…。

客 でも、この前、珍しくボーイスカウトが山の中で歩いているのを見たけど、隊長かな、大人が先頭になって大勢でゾロゾロ歩いてたよ。

S それは、小さい子どもたちのための、ビーバーヤカブでしょう。青っぽい服ではなかったですか？

客 そういやそうだったかな。でも、中学生ぐらいの子どもも一緒だったよ。

S たぶん、それは、付き添いとして付いてただけだと思いますよ。

客 でも、「班」だけ、子どもだけでハイキングしている姿は見えないなあ。

S はあ、やっつるはずなんです。汗。そうそう、あと、このパンフレットに書いてあるように、「ちかい」と「おきて」というのも、ボーイスカウトにはあってですね…。

客 何だか難しいコトバが並んでいるなあ。子どもにわかるの？ とりあえず唱えて、頭に刷り込むのかな？

S いえ、普段の活動の中から徐々にその意味を実感していくんです。

客 ふーん。そのあたりはよくわからないなあ。それに、活動主体の「班」っていうのが怪しそうだし。

S どうですか、ボーイスカウト。

客 自然体験は今の子どもに必要なだし、子ども

同士で社会性も養えるかもしれないね。とりあえず、土日は子どもを預かって遊ばせてくれるようだから、勉強が忙しくないうちに入れてみるかなあ。

S ありがとうございます！

以上は、もちろんフィクションであり、実在の…

ということで、今回は何とか売れたようですが、S氏にとって、ボーイスカウトは売れる商品でしょうか。競合他社の商品に負けるような気がします。

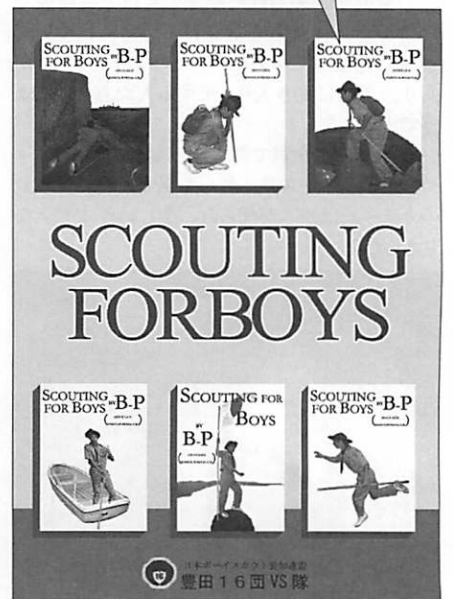
ボーイスカウトは商品ではありませんが、運動を推進していく以上は、その価値を社会に認知してもらえるようにしていく必要があります。でも、そのセールスポイントに自信が持てないようでは、いくら見た目を格好良くしても、推進していくことはできないのではないのでしょうか。本物のボーイスカウトの価値を固めることが、今、一番必要ではないかと思えます。

愛知

□ 自分たちの「スカウティング フォア ボーイズ」

豊田第16団 ベンチャー隊長 松田 剛紀

このたび、(再)発団30周年の記念誌を作る際に、スカウト活動の写真を撮るなかで、「スカウティング フォア ボーイズ」の6つの表紙を再現してみよう！ということになり、山や川、キャンプ場を歩き回り、どここの風景が一番合うのか考えながら、何度も何度も、撮り直しました。その後、パソコンで加工してこまめにアレンジしてみました。



読者の「声」

～6月号の記事について～

●表紙

◇写真がいいですね。シャッター・チャンス、アングル、ちびちゃんの顔への光の当たり具合など、傑作です。毎月の表紙の写真も、負けないようにしなくては!

☑ 毎月最優秀クラスの写真が掲載できるくらい集まると期待しつつ・・・皆さん次回もふるって応募ください!

●写真コンテスト入賞作品発表

◇どの写真も日々の活動の中でのふとしたコマですが、改めて写真で見ると、少し違った視点から見ることで面白く、どれもイキイキとした表情。

◇活動の様子がよくわかる。BVS、BS、VSが少し寂しい。

◇ギャラリーを借りて写真展を開いてはどうですか。PRになると思います。

◇撮影者のコメントがシャッターチャンスのイメージ場面を読者に与えてくれていますので作品が輝いています。

●夏の安全を守りぬく

◇早め早めのプログラム作成がよい循環を生み、安全教育や管理に繋がるという観点は大事だしわかりやすいと思います。

◇KYTのイラストを講習会以外で目にするのは初めて。大いに隊・団で活用してほしい。

◇失敗した具体例を話し合っ、ノウハウを共有している県や地区の記事の掲載の方が効果があるように思う。

◇指導者(特に隊長)の責任の範囲について、過去の判例なども示してみたいかがでしょうか。

◇たとえば食中毒防止の「炊事器具の消毒法」、水プログラムの「気温と水温の差」、「水流の量、速さ」、「海岸の離岸流の有無の調べ方」等具体的なノウハウ集も必要と思う。

☑ 具体的に着手できる記事ヒントありがとうございます!

●隊活動のヒント

◇自然観察で自然に親しみながら種々のことを知るとともに実際に体験することは大変よいことです。ビーバー編では今まで一番秀逸だと思いました。

◇不思議な草がある事を提示する方法にロールプレイを取り入れているところがよい。

◇自然観察と科学を結びつけているのも Good!

◇このテーマ・題材だったら、BVSでは、CSでは、BSでは、というような簡単な展開例にしてあるとよいのではないかなと思います。

●全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

◇数多く利用しているので、故郷のことを記されているような気持ちになった。

◇訓練場としての歴史を久しく拝読した次第で、忘れていた日本のスカウティングの発展と歴史の経緯を改めて知ることができました。

●信仰奨励章取得のための手引き2

◇“自分ができることを約束する機会”というのは参考にしたいです。

◇年代別の奉仕活動指針の線引きは疑問。現場は時代とともに大変身しています。BVSでも緑の羽根やユニセフの募金に参加して「どのようなお願い言葉を言えばよいか、声の大きさは?」等を保護者と共に考え、教えられています。現場の隊長に任せることです。

☑ B・Pが書かれたのは線引きではなく、日頃の活動を通じた各年代ごとの達成目標だったのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

●沖縄第2団訪問記

◇こういう形のスカウト活動があったことに感動です。出院後もどこかの団で活動を続けられたらいいですね。

◇沖縄JCの役割に感動しました。出院後のスカウトたちが社会の一員として励まれることを期待します。

◇興味深く読みました。一つの方向を示唆するものだと思います。

◇匿名でよいからスカウトの声もほしかったです。

◇課題である出院後のフォローもアメリカや韓国の事例を参考にしてぜひ行ってほしい。

◇20kgの砂入りザック。つい楽ばかり考えがちで、これこそプログラムかもしれません。すばらしい。

◇「おきての唱和」はぜひ取り入れたいと思います。

●団・地区・都道府県連盟だより

一能登半島地震復興支援活動

◇十分に調べ、連絡をとり、必要と思われるものを持って参加する態度が大変参考になりました。

◇さすがスカウトのすることだと思いました。被災者の目にもそのように認めてもらったものと思います。

◇遠いこともあり募金でしかジャンボリーの恩返しができなかったですが、おそらく日本全国のスカウトが同じ気持ちであると思います。

◇「迷惑ボランティア」についても言及しており、示唆に富んだ内容でした。災害時の救援は、ボーイスカウトのような「自給自足」できる集団が力を発揮しないといかんですね。

一おれんちテーリング

◇それなりの準備が必要ですね。実力、企画力の現れだと思いました。

◇面白いアイデアにヒントをいただきました。

●サンライズセレモニー速報募集

◇もう一度3月号を引っ張り出して何かできそうなアイデアを絞り出してみたいと思います。

☑ 今月号でも呼びかけいたしました。ぜひ全国からの速報お寄せください。

●ラジオスカウティングアワード

◇もっと早い時期に周知すべき。

◇以前から子どもと始めたいと思っているが、どうやったらいいかわからない。これを機にアマチュア無線に関する特集を組んでもらえたら嬉しい。

●ギフト・フォー・ピース

◇ギフトの解説はとてもよいと思いました。一人ひとりが、隊・団の仲間たちが力を合わせ、世界の平和のために小さな活動でもよいから取り組んでほしいと思います。

◇たいへん間口の広い活動ですが、年代に応じたことから始められればと思います。

◇国際記念行事は最低、県連盟組織で一斉に(スカウトの日のように)行動する日、期間を設けないと盛り上がり意識の共有にはならないようです。当団は昨年末から「ユニセフ募金」活動を始めましたが何かもの足りない感じでした。

●その他フリートーク

◇写真コンテストを見ていて思いましたが、田沼先生に相談して「写真講座」の連載をしてみても? 各隊とも必ず記録写真は撮っているとします。

■皆さんの声をお寄せください。

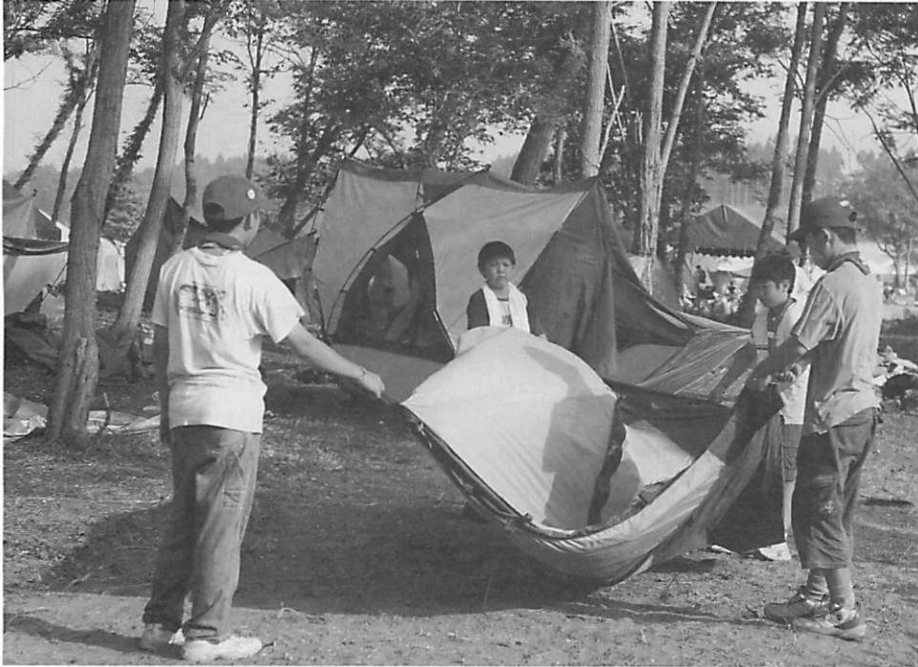
目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿は受けしていません。☑

投稿大募集!



この夏のボーイ隊・ 長期キャンプレポート

10月号で皆さんのレポートを大特集します!



本誌2007年1月号の巻頭特集で、「ボーイ隊の長期キャンプを見直してみよう!」と題し、夏の5泊以上のキャンプを実践するための座談会をご紹介しました。そこでは「様々な課題はあるが、なんとか実施できればそれはボーイ隊の活動にとってとても刺激的なよい機会となる」というような結論に至ったわけですが、翌2月号の「読者の声」や4月号の「ローカルホットライン」、5月号「読者の声」などで皆さんから大きな反響がありました。

この夏、5泊以上の長期キャンプを「やってみた!」という隊や、「残念ながら実現できなかった」という隊の皆さん、ぜひそのレポートをお寄せください。本誌10月号で大特集を組んでご紹介します。

とにかくどんなキャンプだったか、スカウトたちの感想、それ以前のキャンプとの違い、指導者としての苦労点、その解決の工夫、残念ながら乗り越えられなかった問題点などなど、話題は5泊以上の夏期キャンプに関するものなら何でも結構です。本誌誌上で全国の皆さん集って大いに語り合しましょう!

<投稿要領>

- 氏名、所属団、役務、住所、電話番号を明記ください。
- 文字数は800字を目安としますが、制限は設けません。ありったけのレポートをお寄せください。デジタル原稿歓迎。手書きやワープロ出力を郵送いただいても結構です。
※頂戴した原稿は当方で編集させていただきます。
- 写真3枚を目安に添えてください。キャンプの様、隊の集合写真など。こちらもデジタルデータ歓迎。jpeg形式で写真1枚あたり300KB以上のデータをお願いします。
- 締め切り：平成19年8月28日(火) 必着
- 宛先：この頁右上の宛先へお願いします。
なおEメールで投稿いただく場合の表題、および郵送いただく場合の封書に必ず「夏キャンプレポート投稿」と明記してください。



全国からの多数の投稿、お待ちしております。

投稿お待ちしております

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんのお投稿お待ちしております。

【宛先】〒181-0015

東京都三鷹市大沢4-11-10

財団法人ボーイスカウト日本連盟

広報チーム スカウティング投稿係

〈TEL〉 0422-31-5163

〈FAX〉 0422-31-5162

〈Eメール〉 pr@scout.or.jp



SCOUTING

スカウティング

2007年7月号

No.650

CONTENTS

世界スカウト運動創始100周年記念
平成19年度全国大会 報告……………P.2~5

表彰された方々……………P.6~7

8月1日サンライズセレモニー……………P.8~9

さあ行こう!
第21回世界スカウトジャンボリー……………P.10~11

隊活動のヒント……………P.12

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪⑩……………P.13

信仰奨励章取得のための手引き -3- ……P.14

おしらせ・読者のページ……………P.15~19

スカウトショップニュース……………P.21

全国大会トピックス……………P.22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
URL <http://www.scout.or.jp/>
Eメール pr@scout.or.jp

■ © 財団法人ボーイスカウト日本連盟 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■ バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■ 本誌は再生紙を使用しています。

SCOUT SHOP NEWS

NEW



100 Years T シャツ 各 ¥1,050

世界スカウト事務局公認のオフィシャルTシャツの最終バージョン。平和の鳩、100 Years of Scouting、世界スカウト記章、ひとつの世界 ひとつのちかひ、2007 をワンポイント風にデザイン。ボーイスカウト運動創始100周年をこのTシャツを着て祝おう！



サイズ表 (単位: cm)

	S	M	L	XL
着丈	66	70	74	78
身幅	49	52	55	58
袖丈	19	20	22	24

品番	色	サイズ	品番	色	サイズ	品番	色	サイズ	品番	色	サイズ
70036	ネイビー	S	70040	ハイカーキ	S	70044	フオレスト	S	70048	ブラック	S
70037	ネイビー	M	70041	ハイカーキ	M	70045	フオレスト	M	70049	ブラック	M
70038	ネイビー	L	70042	ハイカーキ	L	70046	フオレスト	L	70050	ブラック	L
70039	ネイビー	XL	70043	ハイカーキ	XL	70047	フオレスト	XL	70051	ブラック	XL

100周年の限定商品

素材: 綿 100%

クイックエアーマット&ピロー

品番-83725 ¥4,800
バルブをひねるだけで、簡単にマットとピロー(枕)になります！

マットサイズ 1,880 × 660 × 25mm (空気注入後の最大時) ピローサイズ 350 × 250 × 95mm (空気注入後の最大時) 重量 約 1.97kg (ピロー含む) 素材 本体表面 (ポリエステル) 中素材 (ポリウレタン) カラー グリーン×ブルーのリバーシブル

- 特徴
- ①今までのマットにはないピロー付きで、快適です
 - ②簡単にマットとピローになります
 - ③生活防水加工済み
 - ④くるくる丸めて収納できます
 - ⑤税込み ¥4,800 はリーズナブル

NEW



カラビナ LED ライト

お名前をレーザーで刻印します。ご注文の際は名入れする内容をお知らせください。納期: 4週間 各 ¥840
カラビナ付きのコンパクトなLEDライト。

特長: 高光度なLED (白色1灯)。丈夫で軽いアルミボディ。便利なカラビナ付き。連続点灯10時間の省電力設計。サイズ: [本体部分] 径 1.4 × 5.2cm / 素材: アルミニウム / 重量: 18g / 電池: ボタン電池 LR-41 × 4個 (内蔵・点灯確認用)
名入れ例: T.M (ローマ字頭文字のみ)

カラー	名入れ	品番
シルバー	(名入れ代込み)	90288
	(名入れなしスカウト章のみ)	89495
赤	(名入れ代込み)	97330
	(名入れなしスカウト章のみ)	89482
青	(名入れ代込み)	97332
	(名入れなしスカウト章のみ)	89484
黒	(名入れ代込み)	97334
	(名入れなしスカウト章のみ)	89486

NEW



チタン・スプーン&フォークセット

品番-81068 各 ¥1,850
チタン製なのでとにかく軽量。モンベル社製
サイズ: 16cm

NEW



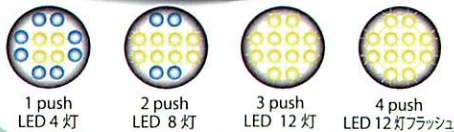
ポータブル・はし

品番-81070 ¥1,850
木製のはしがチタン製円筒の手元に収納できるポータブルなはし。モンベル社製
サイズ: 全長 21mm、収納時: 11.7mm 布製ケース入り

NEW

LED ヘッドランプ

品番-89457 ¥1,800
白色LED12灯使用。白色4灯、8灯、12灯、12灯フラッシュ切替式。電池寿命: 4灯/約120時間、8灯/約60時間、12灯/約30時間、12灯フラッシュ/約150時間。単4アルカリ電池3本使用。重量: 95g。生活防水。電池別売。エバニュー社製。



表示価格は税込価格です。

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

*スカウトカタログ2006-2007等の情報はインターネットでもご覧いただけます。

URL: <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用いただけます。

レセプション

世界スカウト運動創始 100周年 記念レセプション

5月26日（土）の夜、皇太子殿下のご台臨を
いただいて、帝国ホテルにおいて開催されました。

皇太子殿下からは、お言葉を賜るとともに（巻
頭カラーページ参照）、本年イギリスで行われる第
21回世界スカウトジャンボリー日本派遣団代表が
派遣団国旗を拝受しました。また殿下は各テー
ブルをまわられ、出席者と親しくご歓談されました。

◆ 主な特別来賓の方々 ◆

- ・ グレアム・H・フライ駐日英国特命全権大使
- ・ ステファン・ノレン駐日スウェーデン王国特命全権大使
- ・ 斉藤斗志二衆議院議員（BS 振興国会議員連盟会長）
- ・ 中鉢良治ソニー株式会社代表執行役社長
- ・ 結城章夫文部科学省事務次官
- ・ 松本零士中央青少年団体連絡協議会会長
- ・ 滝澤三郎国際連合難民高等弁務官事務所駐日代表

この他来賓を含め530人以上の参加を得て、
100周年にふさわしい盛大なレセプションとなり
ました。

また「映像で振り返る100年、スカウト運動を
築いた人々」の上映、江戸消防記念会の皆さんに
よるアトラクションの木やりが披露されました。



皇太子殿下から派遣団国旗を拝受



文部科学大臣の祝辞を代読いただいた結城章夫文部科学省事務次官



グレアム・H・フライ駐日英国特命全権大使



斉藤斗志二衆議院議員（BS 振興国会議員連盟会長）

パネルディスカッション

ボイスカウト運動に関心を寄せられ、各方面で活躍される著名
な方々に登壇いただき、それぞれのお立場からスカウト運動をより
よくしていくためのアドバイスをいただきました。

<パネリスト>

- 日本マクドナルド（株） 代表取締役会長兼社長兼CEO
原田泳幸氏
- 京都市教育委員会教育長・教育再生会議有識者
門川大作氏
- 日本教育大学院大学 客員教授
北川達夫氏
- 千葉県立大房岬少年自然の家 ディレクター
桜井義維英氏（コーディネーター）

鈴木理事よりの紹介の後、企業、行政、教育、そして野外活動の
現場とそれぞれのお立場のパネリストの皆さんから、示唆に富んだ
お話を伺いました。ごく一部ですがキーワードをご紹介します。

「ただ人数だけ増やせばよいのではない。スカウト運動のすばら
しさをもう一度見つめ直して、結果として人数が増えるようにしな
ければ」（原田氏）

「人間の能力の差は5倍まで。やる気の差は100倍もの結果を
もたらす」（門川氏）

「社会において生きる力、学校や塾ででき
ないことこそBSの最大の売りだ」（北川氏）

「一人ひとりが意識改革を！」（桜井氏）

このパネルディスカッションの内容は、
8月号で詳しくご紹介します。



鈴木理事



原田泳幸氏



門川大作氏



北川達夫氏



桜井義維英氏

全国大会



巻頭カラーで
カウト運動創始
上に話題の豊富

UNHCR アフガン難民プロ について考えよう～への取り組



（左から）滝澤三
郎：UNHCR 駐日代
表、井上保：教育本
部コミッショナー、
赤野間征盛：日本
UNHCR 協会代表理
事、石井直子：GS日
本連盟会長



第23回世界スカウトジャンボリー 日本招致アピール



事業計画説明の中でも特に強調されたものの一つがこの23WSJ日本招致活動についてでした。招致委員会の委員長でもある廣瀬副理事長が、2015年の23WSJ日本開催を実現するための様々な課題や、実現した際の展望などを説明しながら、「重要なのは全国の仲間が日本開催実現に向けて一丸となって取り組むこと」、「この大会に一人でも多くのスカウトを世界から招くことができるようスカウト一人ひとりに活動を始めてほしい」と強くアピール。様々な機会をとらえた招致活動への賛同・支援を全国からの参加者に呼びかけました。



ご歓談中の皇太子殿下



江戸消防記念会の皆さんの「木やり」
⇒23WSJ日本招致の成功を願う垂れ幕も登場



会を締めくくった室橋東京連盟理事長



全国大会のメインロビーには23WSJ日本招致ロゴマークの旗がずらりと並べられた



廣瀬副理事長・23WSJ日本招致委員会委員長

TOPICS!!

トピックス

介した平成19年度全国大会。世界スカウト100周年を記念した今年は、例年以上事業ともなりました。

プロジェクト～アフガン難民に 対し3団体共同声明の発表

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が展開するアフガン難民支援に関する事業について、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本UNHCR協会の3団体が、日本国内における支援・協力を行っていくことになりました。この「共同声明」が帝国ホテルにて発表されました。

この声明は、

- ①難民についての理解を深める（啓発）活動
- ②募金活動などへの参加

を各組織内に呼びかけながら、社会に発信していくというものです。

詳しくは下記のサイト（日本連盟ホームページ内）をご覧ください。

<http://www.scout.or.jp/gfp/gfptopics.html>

ギフト・フォー・ピース・アピール



100周年記念事業の柱でもある「ギフト・フォー・ピース」のアピールも事業計画の中で強調されたものの一つです。全国の団にこの春配布された資料「ボーイスカウト・ガールスカウト ギフト・フォー・ピース ～平和に向けたスカウトのチカラ」に基づき、同事業の実行委員会の青年たちが各担当分野について説明。全国のスカウトたちが「平和」について考え、そして自分たちにできることを考え、それを行動に移していけるようサポートしてほしいと参加者に呼びかけました。



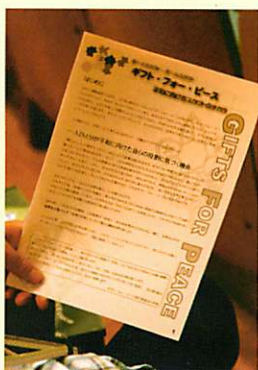
大会の展示コーナーの一角には、平和へのメッセージを集める「平和の木」も設けられ、たくさんの方のメッセージが集まりました。



大会の展示コーナーの一角には、平和へのメッセージを集める「平和の木」も設けられ、たくさんの方のメッセージが集まりました。



(左から) 齋藤達郎 スカウト運動創始100周年記念事業推進委員会委員
松田茂孝 福井・武生第5団VS隊副長 松村優子 GS群馬県第60団
石井琢磨 東京・昭島第1団BS隊副長 佐藤雄哉 奈良・奈良第6団RS



Scouting's Sunrise

SCOUTING 2007/7 650

スカウトインザ
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成19年7月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)
郵便振替 00110-1-82810
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 95311871663251

2007年8月1日 サンライズセレモニー



いよいよ来月、スカウト運動は
100周年の記念すべき日をむかえます。

2007年8月1日の日の出から、世界スカウト機構に加盟する世界中のスカウトが、ブラウンシー島での実験キャンプから100年目のこの日、「ちかい」を新たにして、スカウティングの新しい世紀の夜明けを祝います。

「サンライズセレモニー」は、キリバス、カムチャッカ、フィジー、ニュージーランドなど、日付変更線に最も近い地域のスカウトたちから始まって、地球を一周します。

日本でも、8月1日に全国各地で「サンライズセレモニー」を実施しましょう。

～詳しくは、本誌8-9頁をご覧ください～

